

(様式第10)

広大病医事第16-8号
平成28年1

厚生労働大臣

殿

開設者名(管理者名) 広島大学病院長
平川 勝

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、平成27年度の業務に関して報告します。

記

1 開設者の住所及び氏名

住 所	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
氏 名	国立大学法人 広島大学 広島大学長 越智 光夫

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名 称

広島大学病院

3 所在の場所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号	電話(082) 257 - 5555
----------------------------	----------------------

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

①医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、十六診療科名すべてを標榜
2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し、番号に○印を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科	有	無
内科と組み合わせた診療科名等		
1 脳神経内科 2 呼吸器内科 3 循環器内科 4 消化器・代謝内科 5 内分泌・糖尿病内科 6 リウマチ科 7 血液内科 8 腎臓内科 9 感染症内科		
診療実績		

(注) 1 「内科」欄及び「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「リウマチ科」及び「アレルギー科」についても、「内科と組み合わせた診療科等」欄に記入すること。

(注) 3 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(2) 外科

外科	有	無
外科と組み合わせた診療科名 1 呼吸器外科 2 心臓血管外科 3 消化器外科 4 乳腺外科 5 小児外科		
診療実績		

(注) 1 「外科」欄及び「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「診療実績」欄については、医療法施行規則第六条の四第三項の規定により、他の診療科で医療を提供している場合に記入すること。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

①精神科	②小児科	③整形外科	④脳神経外科	⑤皮膚科	⑥泌尿器科
⑦産婦人科	⑧産科	⑨婦人科	⑩眼科	⑪耳鼻咽喉科	⑫放射線科
⑬放射線診断科	⑭放射線治療科	⑮麻酔科	⑯救急科		

(注) 標榜している診療科名の番号に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科	有	無
歯科と組み合わせた診療科名 1 矯正歯科 2 小児歯科 3 歯科口腔外科		
歯科の診療体制		

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名について記入すること。

(注) 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1 移植外科 2 腫瘍内科 3 病理診断科 4 形成外科 5 リハビリテーション科

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
20床	2床	床	床	724床	746床

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

(平成28年10月1日現在)

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	139人	580人	560.4人	看護補助者	48人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	72人	172人	199人	理学療法士	30人	臨床検査技師	64人
薬 剤 師	35人	20人	55人	作業療法士	7人	衛生検査技師	0人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	9人	その他	0人
助 産 師	15人	0人	15人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看 護 師	781人	10人	788.9人	臨床工学士	17人	医療社会事業従事者	10人
准看護師	1人	0人	1人	栄 養 士	5人	その他の技術員	7人
歯科衛生士	8人	16人	24人	歯 科 技 工 士	6人	事務職員	383人
管理栄養士	3人	8人	11人	診療放射線技師	51人	その他の職員	148人

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

(平成27年10月1日現在)

専門医名	人 数	専門医名	人 数
総合内科専門医	42人	眼科専門医	19人
外科専門医	49人	耳鼻咽喉科専門医	15人
精神科専門医	13人	放射線科専門医	18人
小児科専門医	23人	脳神経外科専門医	15人
皮膚科専門医	10人	整形外科専門医	21人
泌尿器科専門医	12人	麻酔科専門医	21人
産婦人科専門医	18人	救急科専門医	20人
		合 計	296人

- (注) 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (平川 勝洋) 任命年月日 平成27年 4月 1日

平成18年4月1日～平成23年3月31日の5年間、医療安全管理部長に就任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	611.5人	16.9人	628.4人
1日当たり平均外来患者数	1843.4人	540.3人	2383.7人
1日当たり平均調剤数	1049.3 剤		
必要医師数	168.59人		
必要歯科医師数	29.13人		
必要薬剤師数	20.95人		
必要(准)看護師数	393.64人		

(注)1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。

2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。

3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。

4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條の二の算定式に基づき算出すること。

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備	概要		
集中治療室	689.5m ²	鉄筋コンクリート	病床数	33床	心電計	有・無
			人工呼吸装置	有・無	心細動除去装置	有・無
			その他の救急蘇生装置	有・無	ペースメーカー	有・無
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 166.5m ² [移動式の場合] 台数 台		病床数	10床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床積 114.9m ² [共用室の場合] 共用する室名		治験資料室・薬務室・副部長室			
化学検査室	540.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) CO2インキュベーター, FFP解凍器, クリーンベンチ, ルミネックス, 遠心機, 分光光度計, 位相差顕微鏡, リアルタイムPCR			
細菌検査室	68.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) MIC測定装置, オートクレーブ, パスボックス, 安全キャビネット, 遺伝子分析装置, 恒温器, 顕微鏡, 冷蔵庫			
病理検査室	211.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) クリオスタット, 顕微鏡, 保冷库, 細胞診標本作成装置, ハイクリーンベンチ, 自動免疫染色装置, 超純水製造装置			
病理解剖室	122.5m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 臓器写真台, 解剖台, ホムレイヤ-脱臭装置, 酸素クラスター除菌脱臭装置, 光触媒空気清浄器, ホムリソサイクル装置			
研究室	173.0m ²	鉄筋コンクリート	(主な設備) 顕微鏡, パソコン, 超微量パーソナル分光光度計, 微量遠心機, PCR装置, 全自動核酸抽出装置, ホジナイザー			
講義室	1410.1m ²	鉄筋コンクリート	室数	21室	収容定員	647人
図書室	42.8m ²	鉄筋コンクリート	室数	1室	蔵書数	10,000冊程度

(注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。

2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

算定期間		平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日	
紹介率	92.2 %	逆紹介率	71.6 %
算出根拠	A：紹介患者の数	14,857	人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数	12,471	人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数	1,209	人
	D：初診の患者の数	17,429	人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有・無
委員の選定理由の公表の有無	有・無
公表の方法	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
悪性高熱症診断法(スキンドファイバー法)	0 人
骨髄細胞移植による血管新生療法	1 人
前眼部三次元画像解析	41 人
急性リンパ性白血病細胞の免疫遺伝子再構成を利用した定量的PCR法による骨髄微小残存病変(MRD)量の測定	1 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注) 1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注) 2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
術後のホルモン療法及びS-1内服投与の併用療法 原発性乳がん（エストロゲン受容体が陽性であって、HER2が陰性のものに限る。）	0 人
ベメトレキセド静脈内投与及びシスプラチン静脈内投与の併用療法 肺がん（扁平上皮肺がん及び小細胞肺がんを除き、病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）	2 人
放射線照射前に大量メトトレキサート療法を行った後のテモゾロミド内服投与及び放射線治療の併用療法並びにテモゾロミド内服投与の維持療法 初発の中脳神経系原発悪性リンパ腫（病理学的見地からびまん性大細胞型B細胞リンパ腫であると確認されたものであって、原発部位が脳、小脳又は脳幹であるものに限る。）	2 人
インターフェロンα皮下投与及びジドブジン経口投与の併用療法 成人T細胞白血病リンパ腫（症候を有するくすぶり型又は予後不良因子を有さない慢性型のものに限る。）	0 人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注)1 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示 第二百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注)2 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要 実績なし			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	2	56	ベーチェット病	69
2	筋萎縮性側索硬化症	27	57	特発性拡張型心筋症	45
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	2
4	原発性側索硬化症	0	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	15	60	再生不良性貧血	71
6	パーキンソン病	92	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	6	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
8	ハンチントン病	0	63	特発性血小板減少性紫斑病	130
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	2	65	原発性免疫不全症候群	28
11	重症筋無力症	50	66	IgA腎症	33
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	20
13	多発性硬化症/視神経脊髄炎	86	68	黄色靱帯骨化症	9
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎/多巣性運動ニューロパチー	15	69	後縦靱帯骨化症	47
15	封入体筋炎	1	70	広範脊柱管狭窄症	5
16	クドウ・深瀬症候群	0	71	特発性大腿骨頭壊死症	143
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	12
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	56	73	下垂体性TSH分泌亢進症	2
19	ライソゾーム病	6	74	下垂体性PRL分泌亢進症	28
20	副腎白質ジストロフィー	2	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	15	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	60	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	21
23	プリオン病	2	78	下垂体前葉機能低下症	106
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	2
25	進行性多巣性白質脳症	0	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
27	特発性基底核石灰化症	1	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	14	83	アジソン病	1
29	ウルリッヒ病	0	84	サルコイドーシス	56
30	遠位型ミオパチー	3	85	特発性間質性肺炎	40
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	40
32	自己食空腔性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症/肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	26
34	神経線維腫症	29	89	リンパ脈管腫症	8
35	天疱瘡	41	90	網膜色素変性症	14
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	3
37	膿疱性乾癬(汎発型)	5	92	特発性門脈圧亢進症	2
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	1	93	原発性胆汁性肝硬変	78
39	中毒性表皮壊死症	1	94	原発性硬化性胆管炎	4
40	高安動脈炎	17	95	自己免疫性肝炎	26
41	巨細胞性動脈炎	2	96	クローン病	269
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	393
43	顕微鏡的多発血管炎	22	98	好酸球性消化管疾患	4
44	多発血管炎性肉芽腫症	14	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	8	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	12	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	バージャー病	43	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	3	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	240	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎/多発性筋炎	92	105	チャージ症候群	0
51	全身性強皮症	101	106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
52	混合性結合組織病	20	107	全身型若年性特発性関節炎	0
53	シェーグレン症候群	23	108	TNF受容体関連周期性症候群	1
54	成人スチル病	5	109	非典型溶血性尿毒症症候群	1
55	再発性多発軟骨炎	2	110	ブラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	0
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	0
113	筋ジストロフィー	8	163	特発性後天性全身性無汗症	1
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	0
115	遺伝性周期性四肢麻痺	0	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	0
117	脊髄空洞症	2	167	マルファン症候群	3
118	脊髄髄膜瘤	0	168	エーラス・ダンロス症候群	0
119	アイザックス症候群	0	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	1	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	1
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	0	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ベリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	0	177	有馬症候群	0
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	0	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	0
142	ミオクロニー欠伸てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	プラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	0	194	ソトス症候群	0
145	ウエスト症候群	0	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	0	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	0
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	0	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0
212	三尖弁閉鎖症	0	260	シトステロール血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	261	タンジール病	0
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
215	ファロー四徴症	0	263	脳腫黄色腫症	0
216	両大血管右室起始症	0	264	無βリポタンパク血症	0
217	エプスタイン病	0	265	脂肪萎縮症	0
218	アルポート症候群	0	266	家族性地中海熱	0
219	ギャロウェイ・モフト症候群	0	267	高IgD症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	0	268	中條・西村症候群	0
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
222	一次性ネフローゼ症候群	12	270	慢性再発性多発性骨髄炎	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	0	271	強直性脊椎炎	5
224	紫斑病性腎炎	0	272	進行性骨化性線維異形成症	0
225	先天性腎性尿崩症	0	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	274	骨形成不全症	1
227	オスラー病	1	275	タナトフォリック骨異形成症	0
228	閉塞性細気管支炎	0	276	軟骨無形成症	1
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	0	277	リンパ管腫症/ゴーム病	0
230	肺胞低換気症候群	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	0
232	カーニー複合	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	0
233	ウォルフラム症候群	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	0	283	後天性赤芽球癆	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	0	285	ファンコニ貧血	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	287	エプスタイン症候群	0
240	フェニルケトン尿症	0	288	自己免疫性出血病XIII	0
241	高チロシン血症1型	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	0
242	高チロシン血症2型	0	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
243	高チロシン血症3型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
244	メーブルシロップ尿症	0	292	総排泄腔外反症	0
245	プロピオン酸血症	0	293	総排泄腔遺残	0
246	メチルマロン酸血症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
247	イソ吉草酸血症	0	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	296	胆道閉鎖症	0
249	グルタル酸血症1型	0	297	アラジール症候群	0
250	グルタル酸血症2型	0	298	遺伝性膀胱炎	0
251	尿素サイクル異常症	1	299	嚢胞性線維症	0
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	300	IgG4関連疾患	1
253	先天性葉酸吸収不全	0	301	黄斑ジストロフィー	0
254	ポルフィリン症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	303	アッシャー症候群	0
256	筋型糖原病	0	304	若年発症型両側性感音難聴	0
257	肝型糖原病	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	306	好酸球性副鼻腔炎	12

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・精神疾患診療体制加算
・歯科外来診療環境体制加算	・地域歯科診療支援病院入院加算
・歯科診療特別対応連携加算	・救命救急入院料3
・特定機能病院入院基本料	・特定集中治療室管理料3
・超急性期脳卒中加算	・特定集中治療室管理料4
・診療録管理体制加算1	・ハイケアユニット入院医療管理料2
・医師事務作業補助体制加算1	・新生児特定集中治療室管理料2
・急性期看護補助体制加算	・小児入院医療管理料2
・療養環境加算	・
・重症者等療養環境特別加算	・
・無菌治療室管理加算1	・
・無菌治療室管理加算2	・
・緩和ケア診療加算	・
・精神科身体合併症管理加算	・
・摂食障害入院医療管理加算	・
・栄養サポートチーム加算	・
・医療安全対策加算1	・
・感染防止対策加算1	・
・患者サポート体制充実加算	・
・ハイリスク妊娠管理加算	・
・ハイリスク分娩管理加算	・
・呼吸ケアチーム加算	・
・病棟薬剤業務実施加算1	・
・病棟薬剤業務実施加算2	・
・データ提出加算	・
・退院支援加算【加算2】	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・ ウイルス疾患指導料	・ 骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・ 糖尿病合併症管理料	・ 腫瘍脊椎骨全摘術
・ がん性疼痛緩和指導管理料	・ 脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・ がん患者指導管理料1	・ 原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・ がん患者指導管理料2	・ 頭蓋骨形成手術(骨移動を伴うものに限る。)
・ がん患者指導管理料3	・ 脳刺激装置植込術(頭蓋内電極植込術を含む。)及び脳刺激装置交換術
・ 外来緩和ケア管理料	・ 脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・ 移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・ 仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術
・ 糖尿病透析予防指導管理料	・ 羊膜移植術
・ 外来放射線照射診療料	・ 緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・ ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・ 網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)
・ がん治療連携計画策定料	・ 網膜再建術
・ 肝炎インターフェロン治療計画料	・ 人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術
・ 薬剤管理指導料	・ 内視鏡下鼻・副鼻腔手術Ⅴ型(拡大副鼻腔手術)
・ 医療機器安全管理料1	・ 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)
・ 医療機器安全管理料2	・ 上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)
・ 医療機器安全管理料(歯科)	・ 乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・ 歯科治療総合医療管理料(Ⅰ)及び(Ⅱ)	・ 乳腺悪性腫瘍予備乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳頭乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの)
・ 持続血糖測定器加算及び皮下連続式グルコース測定	・ ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・ 遺伝学的検査	・ 肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・ HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・ 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・ 検体検査管理加算(Ⅳ)	・ 経カテーテル大動脈弁置換術
・ 国際標準検査管理加算	・ 経皮的中隔心筋焼灼術
・ 遺伝カウンセリング加算	・ ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ 心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・ 両心室ペースメーカー移植術及び両心室ペースメーカー交換術
・ 胎児心エコー法	・ 植込型除細動器移植術及び植込型除細動器交換術及び経静脈電極除去術
・ 時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・ 両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器移植術及び両室ペースメーカー機能付き植込型除細動器交換術

・ヘッドアップティルト試験	・大動脈バルーンポンピング法 (IABP法)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・補助人工心臓
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・脳波検査判断料1	・体外衝撃波胆石破碎術
・遠隔脳波診断	・腹腔鏡下肝切除術
・脳磁図	・生体部分肝移植術
・神経学的検査	・同種死体肝移植術
・補聴器適合検査	・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術
・ロービジョン検査判断料	・腹腔鏡下膵頭十二指腸切除
・小児食物アレルギー負荷検査	・同種死体膵移植術、同種死体膵腎移植術
・内服・点滴誘発試験	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・CT透視下気管支鏡検査加算	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・有床義歯咀嚼機能検査	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・画像診断管理加算2	・同種死体腎移植術
・歯科画像診断管理加算1	・生体腎移植術
・歯科画像診断管理加算2	・膀胱水圧拡張術
・ポジトロン断層撮影	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影	・人工尿道括約筋植込・置換術
・CT撮影及びMRI撮影	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術
・冠動脈CT撮影加算	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・外傷全身CT加算	・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術
・心臓MRI撮影加算	・輸血管理料 I
・乳房MRI撮影加算	・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算
・抗悪性腫瘍剤処方管理加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・外来化学療法加算1	・歯周組織再生誘導手術
・無菌製剤処理料	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・心大血管疾患リハビリテーション料 (I)	・歯根端切除手術の注3
・脳血管疾患等リハビリテーション料 (I)	・麻酔管理料 (I)
・運動器リハビリテーション料 (I)	・麻酔管理料 (II)
・呼吸器リハビリテーション料 (I)	・放射線治療専任加算
・がん患者リハビリテーション料	・外来放射線治療加算

・ 歯科口腔リハビリテーション料2	・ 高エネルギー放射線治療
・ 認知療法・認知行動療法1	・ 1回線量増加加算
・ 医療保護入院等診療料	・ 強度変調放射線治療 (IMRT)
・ イタールの局所注入 (甲状腺)	・ 画像誘導放射線治療 (IGRT)
・ イタールの局所注入 (副甲状腺)	・ 体外照射呼吸性移動対策加算
・ 透析液水質確保加算2	・ 定位放射線治療
・ 磁気による膀胱等刺激法	・ 定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・ 手術用顕微鏡加算	・ 画像誘導密封小線源治療加算
・ う蝕歯無痛的窩洞形成加算	・ 病理診断管理加算1
・ CAD/CAM冠	・ 口腔病理診断管理加算 1
・ 手術時歯根面レーザー応用加算	・ クラウン・ブリッジ維持管理料
・ 歯科技工加算1及び2	・ 歯科矯正診断料
・ 悪性黒色腫センチネルリンパ節加算	・ 顎口腔機能診断料 (顎変形症 (顎離断等の手術を必要とするものに限る。)) の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・ 組織拡張器による再建手術 (乳房 (再建手術) の場合に限る。)	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

7 診療報酬の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	・
・X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	・
・歯科用CAD・CAMシステムを用いたハイブリッドレジンによる歯冠補綴	・
・内視鏡下手術用ロボットを用いた腹腔鏡下腎部分切除術	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注) 1 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入しなくともよいこと。

(注) 2 「施設基準等の種類」欄には、特定機能病院の名称の承認申請又は業務報告を行う3年前の4月以降に、診療報酬の算定方法(平成二〇年厚生労働省告示第五九号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

8 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に3~4回程度, 1ヶ月に15回程度
剖 検 の 状 況	剖検症例数 36 例 / 剖検率 7.3 %

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
1	横林 賢一, 田妻 進, 菅野 啓司, 溝岡 雅文, 岸川 暢介	総合診療科	Clinical evaluation of ezetimibe on bile lithogenicity in humans: Use of transnasal endoscopy for bile sampling	Hepatol Res. 2015 Jun;45(6):693-7. doi: 10.1111/hepr.12402. Epub 2014 Oct 14.
2	田妻 進, 菅野 啓司	総合診療科	Report on the 2013 national cholelithiasis survey in Japan	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015 May;22(5):392-5. doi: 10.1002/jhbp.206. Epub 2015 Jan 18.
3	田妻 進, 菅野 啓司, 岸川 暢介	総合診療科	Cholangiocyte senescence caused by lysophosphatidylcholine as a potential implication in carcinogenesis	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2015 Sep;22(9):675-82. doi: 10.1002/jhbp.256. Epub 2015 Apr 28.
4	田妻 進	総合診療科	Japanese Clinical Guidelines for Endoscopic Treatment of Pancreatolithiasis	Pancreas. 2015 Oct;44(7):1053-64. doi: 10.1097/MPA.0000000000000449
5	田妻 進	総合診療科	Osteodystrophy in Cholestatic Liver Diseases Is Attenuated by Anti-gamma-Glutamyl Transpeptidase Antibody	PLoS One. 2015 Sep 29;10(9):e0139620. doi: 10.1371/journal.pone.0139620. eCollection 2015.
6	田妻 進	総合診療科	Clinical features of hepatolithiasis: analyses of multicenter-based surveys in Japan	Lipids Health Dis. 2015 Oct 17;14:129. doi: 10.1186/s12944-015-0130-2.
7	横林 賢一, 田妻 進, 菅野 啓司, 溝岡 雅文, 岸川 暢介	総合診療科	Long-term administration of a Niemann-Pick C1-like 1 inhibitor, ezetimibe, does not worsen bile lithogenicity in dyslipidemic patients with hepatobiliary diseases	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Feb;23(2):125-31. doi: 10.1002/jhbp.313. Epub 2016 Jan 25.
8	田妻 進, 菅野 啓司	総合診療科	Ursodeoxycholic acid after bile duct stone removal and risk factors for recurrence: a randomized trial	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2016 Feb;23(2):132-6. doi: 10.1002/jhbp.316. Epub 2016 Jan 26.
9	河野 修典, 梶原 俊毅	感染症科	Clinical characteristics and risk factors of enterococcal infections in Nagasaki, Japan: a retrospective study	BMC Infect Dis. 2015 Oct 16;15:426. doi: 10.1186/s12879-015-1175-6.
10	武田 正明, 栗栖 薫, 山口 智	脳神経外科	Visualization of regional cerebrospinal fluid flow with a dye injection technique in focal arachnoid pathologies	J Neurosurg Spine. 2015 May;22(5):554-7. doi: 10.3171/2014.10.SPINE1446. Epub 2015 Feb 13.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
11	小林 正夫, 栗栖 薫, 権丈 雅浩, 杉山 一彦, 山崎 文之	脳神経外科	The postirradiation incidence of cavernous angioma is higher in patients with childhood pineoblastoma or primitive neuroectodermal tumors than medulloblastoma	Childs Nerv Syst. 2015 Jun;31(6):901-7. doi: 10.1007/s00381-015-2626-5, Epub 2015 Feb 18.
12	栗栖 薫, 杉山 一彦, 山崎 文之	脳神経外科	Magnetic resonance spectroscopy detection of high lipid levels in intraaxial tumors without central necrosis: a characteristic of malignant lymphoma	J Neurosurg. 2015 Jun;122(6):1370-9. doi: 10.3171/2014.9.JNS14106, Epub 2015 Mar 6.
13	栗栖 薫, 粟井 和夫, 品川 勝弘, 一ノ瀬 信彦, 岡崎 貴仁	脳神経外科	Vascular Wall Imaging of Unruptured Cerebral Aneurysms with a Hybrid of Opposite-Contrast MR Angiography	AJNR Am J Neuroradiol. 2015 Aug;36(8):1507-11. doi: 10.3174/ajnr.A4318, Epub 2015 Apr 30.
14	栗栖 薫, 高安 武志, 山崎 文之	脳神経外科	Benign fibrous histiocytoma arising at the temporal bone of an infant—case report and review of the literature	Childs Nerv Syst. 2016 Jan;32(1):189-93. doi: 10.1007/s00381-015-2822-3, Epub 2015 Jul 15.
15	栗栖 薫, 飯田 幸治, 香川 幸太	脳神経外科	Magnetoencephalography using gradient magnetic field topography (GMFT) can predict successful anterior corpus callosotomy in patients with drop attacks	Clin Neurophysiol. 2016 Jan;127(1):221-9. doi: 10.1016/j.clinph.2015.04.292, Epub 2015 Jun 27.
16	武田 正明, 栗栖 薫, 山口 智	脳神経外科	Ginkgo leaf sign: a highly predictive imaging feature of spinal meningioma	J Neurosurg Spine. 2015 Jul 31:1-5.
17	小林 正夫, 栗栖 薫, 杉山 一彦, 川口 浩史, 高安 武志, 山崎 文之	脳神経外科	Cavernous angioma after chemotherapy for desmoplastic/nodular medulloblastoma associated with anhidrotic ectodermal dysplasia	Childs Nerv Syst. 2016 Feb;32(2):395-8. doi: 10.1007/s00381-015-2848-6, Epub 2015 Aug 1.
18	武田 正明, 栗栖 薫, 岡崎 貴仁, 山口 智	脳神経外科	The characteristics of human cranial bone marrow mesenchymal stem cells	Neurosci Lett. 2015 Oct 8;606:161-6. doi: 10.1016/j.neulet.2015.08.056, Epub 2015 Sep 3.
19	松本 昌泰, 丸山 博文, 細見 直永, 青木 志郎, 高橋 哲也	脳神経内科	Endothelial dysfunction is associated with the severity of cerebral small vessel disease	Hypertens Res. 2015 Apr;38(4):291-7. doi: 10.1038/hr.2015.4, Epub 2015 Feb 12.
20	松本 昌泰, 丸山 博文, 木村 浩彰, 細見 直永, 高橋 哲也	脳神経内科	Immediate effect of passive and active stretching on hamstrings flexibility: a single-blinded randomized control trial	J Phys Ther Sci. 2015 Oct;27(10):3167-70. doi: 10.1589/jpts.27.3167, Epub 2015 Oct 30.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
21	松本 昌泰, 祢津 智久, 丸山 博文, 細見 直永, 青木 志郎, 高橋 哲也	脳神経内科	Telomere G-tail Length is a Promising Biomarker Related to White Matter Lesions and Endothelial Dysfunction in Patients With Cardiovascular Risk: A Cross-sectional Study	EBioMedicine. 2015 May 30;2(8):960-7. doi: 10.1016/j.ebiom.2015.05.025. eCollection 2015.
22	松本 昌泰, 丸山 博文, 細見 直永, 越智 一秀	脳神経内科	Tongue thickness evaluation using ultrasonography can predict swallowing function in amyotrophic lateral sclerosis patients	Clin Neurophysiol. 2016 Feb;127(2):1669-74. doi: 10.1016/j.clinph.2015.07.032. Epub 2015 Aug 21.
23	松本 昌泰, 細見 直永, 青木 志郎	脳神経内科	Multicenter Study of Intravenous Recombinant Tissue Plasminogen Activator Infusion around Hiroshima, Japan: The Hiroshima Acute Stroke Retrospective and Prospective Registry Study	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2015 Dec;24(12):2747-53. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2015.08.005. Epub 2015 Sep 7.
24	松本 昌泰, 祢津 智久, 丸山 博文, 細見 直永, 青木 志郎, 高橋 哲也, 越智 一秀	脳神経内科	A Case of Recurrent Ischemic Stroke Involving Subacute, Progressive Intracranial Cerebral Arterial Sclerosis Prior to Diagnosis with JAK2-mutated Polycythemia Vera	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2015 Dec;24(12):e4-6. doi: 10.1016/j.jstrokecerebrovasdis.2015.08.040. Epub 2015 Oct 1.
25	松本 昌泰, 祢津 智久, 丸山 博文, 細見 直永, 青木 志郎	脳神経内科	The Japan Statin Treatment Against Recurrent Stroke (J-STARS): A Multicenter, Randomized, Open-label, Parallel-group Study	EBioMedicine. 2015 Aug 6;2(9):1071-8. doi: 10.1016/j.ebiom.2015.08.006. eCollection 2015.
26	松本 昌泰, 祢津 智久, 細見 直永, 青木 志郎	脳神経内科	Greater Severity of Neurological Defects in Women Admitted With Atrial Fibrillation-Related Stroke	Circ J. 2016;80(1):250-5. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0873. Epub 2015 Oct 29.
27	丸山 博文	脳神経内科	A mutation in the low voltage-gated calcium channel CACNA1G alters the physiological properties of the channel, causing spinocerebellar ataxia	Mol Brain. 2015 Dec 29;8:89. doi: 10.1186/s13041-015-0180-4.
28	山脇 成人, 瀬上 学, 岡田 伶	精神科	The potential use of histone deacetylase inhibitors in the treatment of depression	Prog Neuropsychopharmacol Biol Psychiatry. 2016 Jan 4;64:320-4. doi: 10.1016/j.pnpbpb.2015.03.010. Epub 2015 Mar 25.
29	山脇 成人, 吉野 敦雄, 岡田 剛, 岡本 泰昌	精神科	fMRI Study of Social Anxiety during Social Ostracism with and without Emotional Support	PLoS One. 2015 May 22;10(5):e0127426. doi: 10.1371/journal.pone.0127426. eCollection 2015.
30	山脇 成人, 吉野 敦雄, 岡本 泰昌, 河本 昌志, 大下 恭子, 中村 隆治, 神人 蘭, 山下 英尚	精神科	Effectiveness of group cognitive behavioral therapy for somatoform pain disorder patients in Japan: A preliminary non-case-control study	Psychiatry Clin Neurosci. 2015 Dec;69(12):763-72. doi: 10.1111/pcn.12330. Epub 2015 Aug 5.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
31	山脇 成人, 岡田 剛, 岡本 泰昌, 小早川 誠	精神科	Behavioral activation can normalize neural hypoactivation in subthreshold depression during a monetary incentive delay task	J Affect Disord. 2016 Jan 1;189:254-62. doi: 10.1016/j.jad.2015.09.036. Epub 2015 Oct 3.
32	山脇 成人, 岡田 剛, 岡本 泰昌, 林 優美, 小早川 誠	精神科	Direct and indirect influences of childhood abuse on depression symptoms in patients with major depressive disorder	BMC Psychiatry. 2015 Oct 14;15:244. doi: 10.1186/s12888-015-0636-1.
33	山脇 成人, 岡田 剛, 岡本 泰昌, 山下 英尚	精神科	Association of thalamic hyperactivity with treatment-resistant depression and poor response in early treatment for major depression: a resting-state MRI study using fractional amplitude of low-frequency fluctuations	Transl Psychiatry. 2016 Mar 8;6:e754. doi: 10.1038/tp.2016.18.
34	井之川 宗右	眼科	Dehydroxymethylepoxyquinomicin, a novel nuclear factor-kappa B inhibitor, reduces chemokines and adhesion molecule expression induced by IL-1 beta in human corneal fibroblasts	Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol. 2015 Apr;253(4):557-63. doi: 10.1007/s00417-014-2879-9. Epub 2014 Dec 18.
35	木内 良明, 柳 昌秀	眼科	A common variant mapping to CACNA1A is associated with susceptibility to exfoliation syndrome	Nat Genet. 2015 Apr;47(4):387-92. doi: 10.1038/ng.3226. Epub 2015 Feb 23.
36	木内 良明	眼科	Comparison of the Toxicity Profile of Benzalkonium Chloride-Preserved Tafluprost and SofZia-Preserved Travoprost Applied to the Ocular Surface	J Ocul Pharmacol Ther. 2015 Apr;31(3):156-64. doi: 10.1089/jop.2014.0104. Epub 2015 Feb 24.
37	木内 良明, 神本 聡志	眼科	hCAS/CSE1L regulates RAD51 distribution and focus formation for homologous recombinational repair	Genes Cells. 2015 Sep;20(9):681-94. doi: 10.1111/gtc.12262. Epub 2015 Jun 30.
38	木内 良明, 柳 昌秀	眼科	Exposure to Atomic Bomb Radiation and Age-Related Macular Degeneration in Later Life: The Hiroshima-Nagasaki Atomic Bomb Survivor Study	Invest Ophthalmol Vis Sci. 2015 Aug;56(9):5401-6. doi: 10.1167/iov.15-16680.
39	木内 良明, 杉本 洋輔	眼科	Intraocular Pressure Outcomes and Risk Factors for Failure in the Collaborative Bleb-Related Infection Incidence and Treatment Study	Ophthalmology. 2015 Nov;122(11):2223-33. doi: 10.1016/j.ophtha.2015.06.038. Epub 2015 Sep 26.
40	近間 泰一郎	眼科	Potential New Modes of Treatment of Neurotrophic Keratopathy	Cornea. 2015 Nov;34 Suppl 11:S121-7. doi: 10.1097/ICO.0000000000000587.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
41	木内 良明, 竹中 丈二, 山崎 依里子	眼科	Intraocular pressure readings obtained through soft contact lenses using four types of tonometer	Clin Ophthalmol. 2015 Oct 5;9:1875-81. doi: 10.2147/OPTH.S84953. eCollection 2015.
42	木内 良明, 高 知愛	眼科	Effects of topical adrenergic agents on prostaglandin E2-induced aqueous flare and intraocular pressure elevation in pigmented rabbits	Jpn J Ophthalmol. 2016 Mar;60(2):95-102. doi: 10.1007/s10384-016-0428-2. Epub 2016 Feb 2.
43	木内 良明, 柳 昌秀	眼科	Association between glaucoma eye drops and hyperemia	Jpn J Ophthalmol. 2016 Mar;60(2):72-7. doi: 10.1007/s10384-016-0426-4. Epub 2016 Feb 4.
44	木内 良明	眼科	Proteomic Study of Retinal Proteins Associated with Transcorneal Electric Stimulation in Rats	J Ophthalmol. 2015;2015:492050. doi: 10.1155/2015/492050. Epub 2015 Mar 4.
45	濱本 隆夫	耳鼻咽喉科	Nine cases of carcinoma with neuroendocrine features in the head and neck: clinicopathological characteristics and clinical outcomes	Jpn J Clin Oncol. 2015 Apr;45(4):328-35. doi: 10.1093/jco/hyv008. Epub 2015 Feb 10.
46	竹野 幸夫, 久保田 和法	耳鼻咽喉科	Frontal recess anatomy in Japanese subjects and its effect on the development of frontal sinusitis: computed tomography analysis	J Otolaryngol Head Neck Surg. 2015 May 29;44:21. doi: 10.1186/s40463-015-0074-6.
47	竹野 幸夫, 石野 岳志	耳鼻咽喉科	Novel NOG mutation in Japanese patients with stapes ankylosis with broad thumbs and toes	Eur J Med Genet. 2015 Sep;58(9):427-32. doi: 10.1016/j.ejmg.2015.06.005. Epub 2015 Jul 26.
48	工田 昌也, 片桐 佳明	耳鼻咽喉科	Localization of sirtuins (SIRT1-7) in the aged mouse inner ear	Acta Otolaryngol. 2016;136(2):120-31. doi: 10.3109/00016489.2015.1093172. Epub 2015 Oct 15.
49	竹野 幸夫, 佐々木 淳, 石野 岳志, 久保田 和法, 樽谷 貴之	耳鼻咽喉科	Comparison of arginase isoform expression in patients with different subtypes of chronic rhinosinusitis	J Laryngol Otol. 2015 Dec;129(12):1194-200. doi: 10.1017/S0022215115002728. Epub 2015 Oct 21.
50	服部 登, 河野 修興, 堀益 靖, 大下 慎一郎	呼吸器内科	MUC5B promoter polymorphism in Japanese patients with idiopathic pulmonary fibrosis	Respirology. 2015 Apr;20(3):439-44. doi: 10.1111/resp.12466. Epub 2015 Jan 8.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
51	服部 登, 藤高 一慶, 河野 修興, 岩本 博志, 堀益 靖, 中島 拓, 益田 武	呼吸器内科	MT95-4, a fully humanized antibody raised against aminopeptidase N, reduces tumor progression in a mouse model	Cancer Sci. 2015 Jul;106(7):921-8. doi: 10.1111/cas.12692. Epub 2015 May 29.
52	服部 登, 藤高 一慶, 河野 修興, 妹尾 直, 岩本 博志, 堀益 靖, 中島 拓, 益田 武	呼吸器内科	Histological Quantification of Gene Silencing by Intratracheal Administration of Dry Powdered Small-Interfering RNA/Chitosan Complexes in the Murine Lung	Pharm Res. 2015 Dec;32(12):3877-85. doi: 10.1007/s11095-015-1747-6. Epub 2015 Jul 3.
53	服部 登, 藤高 一慶, 河野 修興, 妹尾 直, 岩本 博志, 高山 裕介, 中島 拓, 益田 武	呼吸器内科	Inhibition of Plasminogen Activator Inhibitor-1 Attenuates Transforming Growth Factor-beta-Dependent Epithelial Mesenchymal Transition and Differentiation of Fibroblasts to Myofibroblasts	PLoS One. 2016 Feb 9;11(2):e0148969. doi: 10.1371/journal.pone.0148969. eCollection 2016.
54	河野 修興	呼吸器内科	Model mice for 15q11-13 duplication syndrome exhibit late-onset obesity and altered lipid metabolism	Hum Mol Genet. 2015 Aug 15;24(16):4559-72. doi: 10.1093/hmg/ddv187. Epub 2015 May 22.
55	宮田 義浩, 岡田 守人, 三村 剛史	呼吸器外科	Radiologic findings to predict low-grade malignant tumour among clinical T1bN0 lung adenocarcinomas: lessons from histological subtypes	Jpn J Clin Oncol. 2015 Aug;45(8):767-73. doi: 10.1093/jcco/hyv078. Epub 2015 Jun 7.
56	宮田 義浩, 岡田 守人, 三村 剛史	呼吸器外科	Impact of Lepidic Component Occupancy on Effects of Adjuvant Chemotherapy for Lung Adenocarcinoma	Ann Thorac Surg. 2015 Dec;100(6):2079-86. doi: 10.1016/j.athoracsur.2015.05.102. Epub 2015 Aug 20.
57	末田 泰二郎, 栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 今井 克彦, 宇都宮 裕人, 土肥 由裕	循環器内科	Effects of the topographical extent of coronary artery ectasia on coronary blood flow in patients with aortic aneurysms	Heart Vessels. 2015 Nov;30(6):712-8. doi: 10.1007/s00380-014-0540-5. Epub 2014 Jul 3.
58	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Influence of dual antiplatelet therapy on mean platelet volume in patients with coronary artery disease undergoing percutaneous coronary intervention	Heart Vessels. 2016 Mar;31(3):269-74. doi: 10.1007/s00380-014-0599-z. Epub 2014 Nov 9.
59	木原 康樹, 茶山 一彰, 河野 修興, 日高 貴之, 丸橋 達也, 沖 健司	循環器内科	Effect of Aldosterone-Producing Adenoma on Endothelial Function and Rho-Associated Kinase Activity in Patients With Primary Aldosteronism	Hypertension. 2015 Apr;65(4):841-8. doi: 10.1161/HYPERTENSION.AHA.114.05001. Epub 2015 Jan 26.
60	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 日高 貴之, 宇都宮 裕人	循環器内科	Value of Resting Echocardiographic Findings and Dobutamine Stress Echocardiography for Diagnosing Myocardial Ischemia in Patients with Suspected Angina Pectoris	Echocardiography. 2015 Jun;32(6):993-1002. doi: 10.1111/echo.12800. Epub 2015 Feb 27.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
61	山本 秀也, 木原 康樹, 栗井 和夫, 北川 知郎, 立神 史彦	循環器内科	Association of Epicardial and Abdominal Visceral Adipose Tissue With Coronary Atherosclerosis in Patients With a Coronary Artery Calcium Score of Zero	Circ J. 2015;79(5):1084-91. doi: 10.1253/circj.CJ-14-1169. Epub 2015 Feb 24.
62	木原 康樹, 日高 貴之, 丸橋 達也	循環器内科	Exogenous nitric oxide inhibits Rho-associated kinase activity in patients with angina pectoris: a randomized controlled trial	Hypertens Res. 2015 Jul;38(7):485-90. doi: 10.1038/hr.2015.24. Epub 2015 Mar 5.
63	木原 康樹	循環器内科	Adaptive Servo-Ventilation Therapy for Patients With Chronic Heart Failure in a Confirmatory, Multicenter, Randomized, Controlled Study	Circ J. 2015;79(5):981-90. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0221.
64	中野 由紀子	循環器内科	Genetics of long-QT syndrome	J Hum Genet. 2016 Jan;61(1):51-5. doi: 10.1038/jhg.2015.74. Epub 2015 Jun 25.
65	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Mean platelet volume and left ventricular geometry in patients with aortic valve stenosis	Clin Exp Hypertens. 2015;37(8):661-5. doi: 10.3109/10641963.2015.1047942. Epub 2015 Jul 7.
66	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Reduction of Central Blood Pressure in Response to Oral Glucose Loading Is Blunted in Patients With Diabetes Mellitus	Am J Hypertens. 2016 Mar;29(3):357-64. doi: 10.1093/ajh/hpv120. Epub 2015 Jul 23.
67	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Effects of Cardiac Hemodynamics on Agreement in the pH _i , HCO ₃ ⁻ and Lactate Levels between Arterial and Venous Blood Samples in Patients with Known or Suspected Chronic Heart Failure	Intern Med. 2015;54(15):1841-7. doi: 10.2169/internalmedicine.54.3995. Epub 2015 Aug 1.
68	木原 康樹, 茶山 一彰, 日高 貴之, 丸橋 達也	循環器内科	Rho-Associated Kinase Activity Is an Independent Predictor of Cardiovascular Events in Acute Coronary Syndrome	Hypertension. 2015 Oct;66(4):892-9. doi: 10.1161/HYPERTENSION.115.05587. Epub 2015 Aug 17.
69	末田 泰二郎, 山本 秀也, 木原 康樹, 高橋 信也, 北川 知郎	循環器内科	The relationship between inflammation and neoangiogenesis of epicardial adipose tissue and coronary atherosclerosis based on computed tomography analysis	Atherosclerosis. 2015 Nov;243(1):293-9. doi: 10.1016/j.atherosclerosis.2015.09.013. Epub 2015 Sep 10.
70	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Effects of myocardial perfusion abnormalities on the accuracy of left ventricular volume and ejection fraction measured by thallium-201 gated single-photon emission tomography: comparison with echocardiography as the reference standard	Nucl Med Commun. 2015 Nov;36(11):1127-33. doi: 10.1097/MNM.00000000000006369.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
71	木原 康樹, 丸橋 達也	循環器内科	Reduction in blood pressure improves impaired nitroglycerine-induced vasodilation in patients with essential hypertension	Hypertens Res. 2015 Dec;38(12):862-8. doi: 10.1038/hr.2015.93. Epub 2015 Sep 3.
72	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Myocardial Injury after Percutaneous Coronary Intervention for In-Stent Restenosis Versus de novo Stenosis	Intern Med. 2015;54(18):2299-305. doi: 10.2169/internalmedicine.54.5003. Epub 2015 Sep 15.
73	木原 康樹	循環器内科	Do Lower Target Temperatures or Prolonged Cooling Provide Improved Outcomes for Comatose Survivors of Cardiac Arrest Treated With Hypothermia?	J Am Heart Assoc. 2015 Sep 21;4(9):e002123. doi: 10.1161/JAHA.115.002123
74	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Usefulness of aortic knob width on chest radiography to predict central hemodynamics in patients with known or suspected coronary artery disease	Clin Exp Hypertens. 2015;37(6):440-4. doi: 10.3109/10641963.2015.1057834.
75	木原 康樹	循環器内科	Effect of a Low-Intensity Pulsed Ultrasound Device, SX-1001, on Clinical Symptoms in Buerger Disease With Limb Ischemia	Int Heart J. 2015;56(6):632-8. doi: 10.1536/ihj.15-191. Epub 2015 Nov 9.
76	栗栖 智, 山本 秀也, 木原 康樹, 日高 貴之, 土肥 由裕, 北川 知郎	循環器内科	The Potential Role of Inflammation Associated with Interaction between Osteopontin and CD44 in a Case of Pulmonary Tumor Thrombotic Microangiopathy Caused by Breast Cancer	Intern Med. 2015;54(22):2877-80. doi: 10.2169/internalmedicine.54.4749. Epub 2015 Nov 15.
77	栗栖 智, 山本 秀也, 木原 康樹, 山邊 小百合, 日高 貴之, 土肥 由裕	循環器内科	Prognostic Factors for Survival in Pulmonary Hypertension Due to Left Heart Disease	Circ J. 2016;80(1):243-9. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0708. Epub 2015 Nov 17.
78	栗栖 智, 石橋 堅, 木原 康樹, 日高 貴之, 土肥 由裕, 福田 幸弘	循環器内科	Association of mitral annular velocity with myocardial ischemia assessed by single-photon emission computed tomography in patients with suspected coronary artery disease and preserved ejection fraction	Nucl Med Commun. 2016 Mar;37(3):278-82. doi: 10.1097/MNM.0000000000000433.
79	木原 康樹	循環器内科	Guidelines for Diagnosis and Treatment of Patients With Hypertrophic Cardiomyopathy (JCS 2012) - Digest Version -	Circ J. 2016;80(3):753-74. doi: 10.1253/circj.CJ-66-0122. Epub 2016 Feb 3.
80	末田 泰二郎, 黒崎 達也, 片山 桂次郎, 今井 克彦, 高橋 信也	心臓血管外科	Multiple factors predict the risk of spinal cord injury after the frozen elephant trunk technique for extended thoracic aortic disease	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Apr;47(4):616-20. doi: 10.1093/ejcts/ezu243. Epub 2014 Jun 18.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
81	末田 泰二郎	心臓血管外科	Hydrodynamic characteristics of a membrane oxygenator: modeling of pressure-flow characteristics and their influence on apparent viscosity	Perfusion. 2015 Sep;30(6):478-83. doi: 10.1177/0267659114562101. Epub 2014 Dec 2.
82	末田 泰二郎	心臓血管外科	History and development of surgical procedures for atrial fibrillation	Surg Today. 2015 Dec;45(12):1475-80. doi: 10.1007/s00595-015-1140-4. Epub 2015 Mar 4.
83	末田 泰二郎, 黒崎 達也, 片山 桂次郎, 児玉 裕司, 今井 克彦, 高橋 信也, 田口 隆浩, 渡邊 正清	心臓血管外科	Preoperative Tissue Doppler Imaging-Derived Atrial Conduction Time Predicts Postoperative Atrial Fibrillation in Patients Undergoing Mitral Valve Surgery for Mitral Valve Regurgitation	Circ J. 2016;80(1):101-9. doi: 10.1253/circj.CJ-15-0796. Epub 2015 Nov 4.
84	田口 隆浩	心臓血管外科	Mitral Valve Replacement via Anterolateral Right Thoracotomy without Cross-Clamping in a Patient with Fungal Infective Endocarditis and Functioning Internal Mammary Artery after Previous Coronary Artery Bypass Grafting and Mitral Valve Repair	Heart Surg Forum. 2016 Feb 24;19(1):E33-5. doi: 10.1532/hsf.1359.
85	茶山 一彰, 佐野村 洋次, 田中 信治, 岡志郎, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Risk factors and management of positive horizontal margin in early gastric cancer resected by en bloc endoscopic submucosal dissection	Gastric Cancer. 2015 Apr;18(2):332-8. doi: 10.1007/s10120-014-0368-9. Epub 2014 Apr 16.
86	茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Eicosapentaenoic acid/arachidonic acid ratio as a possible link between non-alcoholic fatty liver disease and cardiovascular disease	Hepato Res. 2015 May;45(5):533-9. doi: 10.1111/hepr.12382. Epub 2014 Jul 18.
87	茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 有廣 光司, 川上 由育	消化器・代謝内科	Disseminated carcinomatosis of the bone marrow originating from hepatocellular carcinoma. A case report	Hepato Res. 2015 Jun;45(6):705-10. doi: 10.1111/hepr.12391. Epub 2014 Sep 3.
88	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 越智 秀典, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由育	消化器・代謝内科	Efficacy and safety of the anticoagulant drug, danaparoid sodium, in the treatment of portal vein thrombosis in patients with liver cirrhosis	Hepato Res. 2015 Jun;45(6):656-62. doi: 10.1111/hepr.12400. Epub 2014 Sep 2.
89	茶山 一彰, 相方 浩	消化器・代謝内科	Elevation of Serum Levels of Advanced Glycation End Products in Patients With Non-B or Non-C Hepatocellular Carcinoma	J Clin Lab Anal. 2015 Nov;29(6):480-4. doi: 10.1002/jcla.21797. Epub 2014 Sep 23.
90	茶山 一彰, 秀 道広, 田中 信治, 上野 義隆	消化器・代謝内科	Pulverized konjac glucomannan ameliorates oxazolone-induced colitis in mice	Eur J Nutr. 2015 Sep;54(6):959-69. doi: 10.1007/s00394-014-0772-2. Epub 2014 Sep 25.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
91	茶山 一彰, 粟井 和夫, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由育	消化器・代謝内科	Evaluation of early response to hepatic arterial infusion chemotherapy in patients with advanced hepatocellular carcinoma using the combination of Response Evaluation Criteria in Solid Tumors and tumor markers	J Gastroenterol Hepatol. 2015 Apr;30(4):726-32. doi: 10.1111/jgh.12821.
92	田代 裕尊, 大段 秀樹, 茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 石山 宏平, 川上 由育	消化器・代謝内科	Sustained virological response to antiviral therapy improves survival rate in patients with recurrent hepatitis C virus infection after liver transplantation	Hepatology. 2015 Nov;61(5):1523-32. doi: 10.1002/hep.27705. Epub 2015 Mar 23.
93	茶山 一彰, 田中 信治, 岡 志郎, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Endoscopic Submucosal Dissection as Total Excisional Biopsy for Clinical T1 Colorectal Carcinoma	Digestion. 2015;91(1):64-9. doi: 10.1159/000368866. Epub 2015 Jan 20.
94	茶山 一彰	消化器・代謝内科	Randomized Trial of Interferon- and Ribavirin-Free Ombitasvir/Paritaprevir/Ritonavir in Treatment-Experienced Hepatitis C Virus-Infected Patients	Hepatology. 2015 May;61(5):1523-32. doi: 10.1002/hep.27705. Epub 2015 Mar 23.
95	茶山 一彰, 田中 信治, 岡 志郎	消化器・代謝内科	Risk of bleeding after endoscopic submucosal dissection for colorectal tumors in patients with continued use of low-dose aspirin	J Gastroenterol. 2015 Oct;50(10):1041-6. doi: 10.1007/s00535-015-1053-4. Epub 2015 Feb 15.
96	茶山 一彰, 田中 信治, 上野 義隆, 岡 志郎, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Clinical usefulness of endocytoscopy in the remission stage of ulcerative colitis: a pilot study	J Gastroenterol. 2015 Nov;50(11):1087-93. doi: 10.1007/s00535-015-1059-y. Epub 2015 Mar 1.
97	茶山 一彰	消化器・代謝内科	Novel Robust in Vitro Hepatitis B Virus Infection Model Using Fresh Human Hepatocytes Isolated from Humanized Mice	Am J Pathol. 2015 May;185(5):1275-85. doi: 10.1016/j.ajpath.2015.01.028. Epub 2015 Mar 17.
98	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 越智 秀典, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由育	消化器・代謝内科	Association between variants in the interferon lambda 4 locus and substitutions in the hepatitis C virus non-structural protein 5A	J Hepatol. 2015 Sep;63(3):554-63. doi: 10.1016/j.jhep.2015.03.033. Epub 2015 Apr 4.
99	茶山 一彰, 芹川 正浩	消化器・代謝内科	Evaluation of Antibiotic Use to Prevent Post-Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography Pancreatitis and Cholangitis	Hepatogastroenterology. 2015 Mar-Apr;62(138):417-24.
100	茶山 一彰, 越智 秀典, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由育	消化器・代謝内科	Influence of the rs738409 polymorphism in patatin-like phospholipase 3 on the treatment efficacy of non-alcoholic fatty liver disease with type 2 diabetes mellitus	Hepatology. 2015 Jul 29. doi: 10.1111/hepr.12552. Epub 2015 Jul 29.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
101	茶山 一彰, 伊藤 公訓, 田中 信治, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Interobserver and intraobserver agreement for gastric mucosa atrophy	BMC Gastroenterol. 2015 Aug 4;15:95. doi: 10.1186/s12876-015-0327-x.
102	茶山 一彰, 佐野村 洋次, 田中 信治	消化器・代謝内科	Computer-aided diagnosis of colorectal polyp histology by using a real-time image recognition system and narrow-band imaging magnifying colonoscopy	Gastrointest Endosc. 2016 Mar;83(3):643-9. doi: 10.1016/j.gie.2015.08.004. Epub 2015 Aug 8.
103	茶山 一彰, 田中 信治, 上野 義隆	消化器・代謝内科	Successful Use of Adalimumab for Treating Pyoderma Gangrenosum with Ulcerative Colitis under Corticosteroid-tapering Conditions	Intern Med. 2015;54(17):2167-72. doi: 10.2169/internalmedicine.54.4853. Epub 2015 Sep 1.
104	茶山 一彰	消化器・代謝内科	MicroRNAs as Biomarkers for Liver Disease and Hepatocellular Carcinoma	Int J Mol Sci. 2016 Feb 24;17(3):280. doi: 10.3390/ijms17030280.
105	茶山 一彰, 田中 信治, 岡 志郎	消化器・代謝内科	Major predictors and management of small-bowel angioectasia	BMC Gastroenterol. 2015 Aug 25;15:108. doi: 10.1186/s12876-015-0337-8.
106	茶山 一彰, 佐野村 洋次, 田中 信治	消化器・代謝内科	Evaluation of dual-wavelength excitation autofluorescence imaging of colorectal tumours with a high-sensitivity CMOS imager: a cross-sectional study	BMC Gastroenterol. 2015 Sep 2;15:110. doi: 10.1186/s12876-015-0339-6.
107	茶山 一彰	消化器・代謝内科	Early events in hepatitis B virus infection: From the cell surface to the nucleus	J Gastroenterol Hepatol. 2016 Feb;31(2):302-9. doi: 10.1111/jgh.13175.
108	茶山 一彰, 田中 信治, 上野 義隆, 岡 志郎	消化器・代謝内科	Clinical usefulness of transabdominal ultrasonography prior to patency capsule for suspected small-bowel strictures	Scand J Gastroenterol. 2016 Mar;51(3):281-7. doi: 10.3109/00365521.2015.1095942. Epub 2015 Oct 14.
109	茶山 一彰	消化器・代謝内科	HCV Drug Resistance Challenges in Japan: The Role of Pre-Existing Variants and Emerging Resistant Strains in Direct Acting Antiviral Therapy	Viruses. 2015 Oct 13;7(10):5328-42. doi: 10.3390/v7102876.
110	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 越智 秀典, 大野 敦司, 中原 隆志, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和	消化器・代謝内科	Effect of tenofovir disoproxil fumarate on drug-resistant HBV clones	J Infect. 2016 Jan;72(1):91-102. doi: 10.1016/j.jinf.2015.09.038. Epub 2015 Oct 26.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
111	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 相方 浩, 今村 道雄	消化器・代謝内科	Elimination of HCV via a non-ISG-mediated mechanism by vaniprevir and BMS-788329 combination therapy in human hepatocyte chimeric mice	Virus Res. 2016 Feb 2;213:62-8. doi: 10.1016/j.virusres.2015.11.010. Epub 2015 Nov 10.
112	茶山 一彰, 北台 靖彦, 田中 信治	消化器・代謝内科	Regression of Cecal MALT Lymphoma after Antibiotic Treatment in a Patient with Helicobacter pylori Infection	Intern Med. 2016;55(2):135-9. doi: 10.2169/internalmedicine.55.5937. Epub 2016 Jan 15.
113	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 越智 秀典, 相方 浩, 今村 道雄, 川上 由香	消化器・代謝内科	Long term persistence of NS5A inhibitor-resistant hepatitis C virus in patients who failed daclatasvir and asunaprevir therapy	J Med Virol. 2015 Nov;87(11):1913-20. doi: 10.1002/jmv.24255. Epub 2015 Jun 16.
114	茶山 一彰, 伊藤 公訓, 保田 智之, 松尾 泰治, 田中 信治	消化器・代謝内科	Diagnosis of Helicobacter pylori-induced gastritis by serum pepsinogen levels	J Gastroenterol Hepatol. 2015 Oct;30(10):1473-7. doi: 10.1111/jgh.12987.
115	茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由香	消化器・代謝内科	Efficacy of radiofrequency ablation for initial recurrent hepatocellular carcinoma after curative treatment: Comparison with primary cases	Eur J Radiol. 2015 Aug;84(8):1540-5. doi: 10.1016/j.ejrad.2015.04.020. Epub 2015 Apr 28.
116	茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由香	消化器・代謝内科	Usefulness of combining gadolinium-ethoxybenzyl-diethylenetriamine pentaacetic acid-enhanced magnetic resonance imaging and contrast-enhanced ultrasound for diagnosing the macroscopic classification of small hepatocellular carcinoma	Eur Radiol. 2015 Nov;25(11):3272-81. doi: 10.1007/s00330-015-3725-0. Epub 2015 Jun 3.
117	大段 秀樹, 平賀 伸彦, 茶山 一彰, 相方 浩, 今村 道雄	消化器・代謝内科	Human Cytotoxic T Lymphocyte-Mediated Acute Liver Failure and Rescue by Immunoglobulin in Human Hepatocyte Transplant TK-NOG Mice	J Virol. 2015 Oct;89(19):10087-96. doi: 10.1128/JVI.01126-15. Epub 2015 Aug 5.
118	村上 義昭, 上村 健一郎, 茶山 一彰, 芹川 正浩, 石井 康隆	消化器・代謝内科	Preoperative Biliary Drainage in Cases of Borderline Resectable Pancreatic Cancer Treated with Neoadjuvant Chemotherapy and Surgery	Gastroenterol Res Pract. 2016;2016:7968201. doi: 10.1155/2016/7968201. Epub 2016 Jan 6.
119	平賀 伸彦, 茶山 一彰, 越智 秀典, 相方 浩, 今村 道雄	消化器・代謝内科	Rapid, Sensitive, and Accurate Evaluation of Drug Resistant Mutant (NS5A-Y93H) Strain Frequency in Genotype 1b HCV by Invader Assay	PLoS One. 2015 Jun 17;10(6):e0130022. doi: 10.1371/journal.pone.0130022. eCollection 2015.
120	茶山 一彰, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 川上 由香	消化器・代謝内科	Comparison of hepatic arterial infusion chemotherapy versus sorafenib monotherapy in patients with advanced hepatocellular carcinoma	J Dig Dis. 2015 Sep;16(9):505-12. doi: 10.1111/1751-2980.12267.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
121	大段 秀樹, 茶山 一彰, 恵木 浩之, 檜井 孝夫, 田中 信治, 岡 志郎, 有廣 光司	消化器・代謝内科	Long-term outcomes after treatment for T1 colorectal carcinoma	Int J Colorectal Dis. 2016 Mar;31(3):571-8. doi: 10.1007/s00384-015-2473-6. Epub 2015 Dec 22.
122	石山 宏平	消化器外科	A Nationwide Survey of Hepatitis E Virus Infection and Chronic Hepatitis E in Liver Transplant Recipients in Japan	EBioMedicine. 2015 Nov;2(11):1607-12.
123	田代 裕尊, 大段 秀樹	消化器外科	Intrahepatic triglyceride measurement and estimation of viability in rat fatty livers by near-infrared spectroscopy	Hepato Res. 2015 Apr;45(4):470-9. doi: 10.1111/hepr.12364. Epub 2014 Jun 27.
124	田代 裕尊, 大段 秀樹	消化器外科	Small bowel obstruction due to an unconjugated ursodeoxycholic acid enterolith following living donor liver transplantation: Report of a case	Hepato Res. 2015 Jul;45(7):818-22. doi: 10.1111/hepr.12401. Epub 2014 Sep 2.
125	大段 秀樹, 恵木 浩之, 下村 学, 檜井 孝夫, 安達 智洋	消化器外科	Oxaliplatin and molecular-targeted drug therapies improved the overall survival in colorectal cancer patients with synchronous peritoneal carcinomatosis undergoing incomplete cytoreductive surgery	Surg Today. 2015 Aug;45(8):986-92. doi: 10.1007/s00595-014-1017-y. Epub 2014 Aug 26.
126	大段 秀樹, 恵木 浩之	消化器外科	The significance of spatial cognitive ability in robot-assisted surgery	Surg Endosc. 2015 May;29(5):1130-6. doi: 10.1007/s00464-014-3773-6. Epub 2014 Aug 27.
127	大段 秀樹, 恵木 浩之	消化器外科	An evaluation of the endoscopic surgical skills assessment using a video analysis software program	Surg Endosc. 2015 Jul;29(7):1804-8. doi: 10.1007/s00464-014-3863-5. Epub 2014 Oct 8.
128	大段 秀樹, 檜井 孝夫	消化器外科	Laparoscopic Versus Open Surgery for Colorectal Cancer in Elderly Patients: A Multicenter Matched Case-Control Study	Ann Surg Oncol. 2015;22(6):2040-50. doi: 10.1245/s10434-014-4172-x. Epub 2014 Oct 21.
129	大段 秀樹, 恵木 浩之, 下村 学, 檜井 孝夫, 安達 智洋	消化器外科	The modified Glasgow prognostic score for early mortality in patients with synchronous peritoneal carcinomatosis from colorectal cancer	Surg Today. 2015 Nov;45(11):1396-403. doi: 10.1007/s00595-014-1080-4. Epub 2014 Nov 28.
130	村上 義昭, 末田 泰二郎, 上村 健一郎, 橋本 泰司, 近藤 成	消化器外科	Postpancreatoduodenectomy Hemorrhage Treated by Combined Transcatheter Arterial Embolization and Superior Mesenteric Artery to Iliac Artery Bypass: Report of a Case	Int Surg. 2015 Jun;100(6):1084-8. doi: 10.9738/INTSURG-D-14-00203.1. Epub 2015 Jan 14.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
131	末田 泰二郎, 大毛 宏喜, 繁本 憲文, 嶋田 徳光	消化器外科	Persistence and Epidemic Propagation of a <i>Pseudomonas aeruginosa</i> Sequence Type 235 Clone Harboring an IS26 Composite Transposon Carrying the bla(IMP-1) Integron in Hiroshima, Japan, 2005 to 2012	Antimicrob Agents Chemother. 2015 May;59(5):2678-87. doi: 10.1128/AAC.04207-14. Epub 2015 Feb 23.
132	村上 義昭	消化器外科	Portal or superior mesenteric vein resection in pancreaticoduodenectomy for pancreatic head carcinoma	Br J Surg. 2015 Jun;102(7):837-46. doi: 10.1002/bjs.9799. Epub 2015 Apr 15.
133	村上 義昭, 上村 健一郎	消化器外科	National Comprehensive Cancer Network Resectability Status for Pancreatic Carcinoma Predicts Overall Survival	World J Surg. 2015 Sep;39(9):2306-14. doi: 10.1007/s00268-015-3096-3.
134	村上 義昭, 上村 健一郎	消化器外科	Impact of Preoperative Biliary Drainage on Long-Term Survival in Resected Pancreatic Ductal Adenocarcinoma: A Multicenter Observational Study	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S1238-46. doi: 10.1245/s10434-015-4618-9. Epub 2015 May 27.
135	村上 義昭, 末田 泰二郎, 上村 健一郎, 橋本 泰司, 近藤 成, 中川 直哉	消化器外科	An Increased Number of Perineural Invasions Is Independently Associated With Poor Survival of Patients With Resectable Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	Pancreas. 2015 Nov;44(8):1345-51. doi: 10.1097/MPA.0000000000000413.
136	村上 義昭, 末田 泰二郎, 上村 健一郎, 高橋 信也, 浦部 和秀, 橋本 泰司, 近藤 成, 中川 直哉	消化器外科	Nerve Growth Factor Expression Is Not Associated with Perineural Invasion in Extrahepatic Cholangiocarcinoma	Dig Dis Sci. 2016 Mar;61(3):774-84. doi: 10.1007/s10620-015-3953-9. Epub 2015 Nov 7.
137	村上 義昭, 末田 泰二郎, 上村 健一郎, 高橋 信也, 橋本 泰司, 近藤 成, 中川 直哉	消化器外科	Remnant pancreatic parenchymal volume predicts postoperative pancreatic exocrine insufficiency after pancreatectomy	Surgery. 2016 Mar;159(3):885-92. doi: 10.1016/j.surg.2015.08.046. Epub 2015 Oct 23.
138	村上 義昭, 末田 泰二郎, 上村 健一郎, 高橋 信也, 橋本 泰司, 近藤 成, 中川 直哉	消化器外科	Survival effects of adjuvant gemcitabine plus S-1 chemotherapy on pancreatic carcinoma stratified by preoperative resectability status	J Surg Oncol. 2016 Mar;113(4):405-12. doi: 10.1002/jso.24156. Epub 2016 Jan 11.
139	小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 黒田 慎太郎	消化器外科・移植外科	Administration of Antithrombin III Attenuates Posthepatectomy Liver Failure in Hepatocellular Carcinoma	Dig Surg. 2015;32(3):173-80. doi: 10.1159/000379759. Epub 2015 Mar 28.
140	大段 秀樹, 惠木 浩之, 下村 学, 増井 孝夫, 石崎 康代, 安達 智洋	消化器外科・移植外科	Up-front systemic chemotherapy is a feasible option compared to primary tumor resection followed by chemotherapy for colorectal cancer with unresectable synchronous metastases	World J Surg Oncol. 2015 Apr 24;13:162. doi: 10.1186/s12957-015-0570-1.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
141	大段 秀樹, 檜井 孝夫	消化器外科・移植外科	Laparoscopic surgery for colorectal cancer is safe and has survival outcomes similar to those of open surgery in elderly patients with a poor performance status: subanalysis of a large multicenter case-control study in Japan	J Gastroenterol. 2016 Jan;51(1):43-54. doi: 10.1007/s00535-015-1083-y. Epub 2015 May 5,
142	田邊 和照	消化器外科・移植外科	Phase II/III study of second-line chemotherapy comparing irinotecan alone with S-1 plus irinotecan in advanced gastric cancer refractory to first-line treatment with S-1 (JACCRO GC-05)	Ann Oncol. 2015 Sep;26(9):1916-22. doi: 10.1093/annonc/mdv265. Epub 2015 Jun 24,
143	大段 秀樹, 檜井 孝夫, 安達 智洋	消化器外科・移植外科	Chlorinated Water Modulates the Development of Colorectal Tumors with Chromosomal Instability and Gut Microbiota in Apc-Deficient Mice	PLoS One. 2015 Jul 17;10(7):e0132435. doi: 10.1371/journal.pone.0132435, eCollection 2015,
144	小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 黒田 慎太郎	消化器外科・移植外科	Prognostic evaluation of mucin-5AC expression in intrahepatic cholangiocarcinoma, mass-forming type, following hepatectomy	Eur J Surg Oncol. 2015 Nov;41(11):1515-21. doi: 10.1016/j.ejso.2015.07.006. Epub 2015 Jul 17.
145	大段 秀樹	消化器外科・移植外科	The Role of Liver Sinusoidal Endothelial Cells in Induction of Carbohydrate Reactive B Cells Tolerance Through the Programmed Death 1/Programmed Death Ligand 1 Pathway	Transplantation. 2015 Nov;99(11):2325-36. doi: 10.1097/TP.0000000000000831
146	杉山 友加, 大段 秀樹, 清水 誠一, 井手 健太郎, 石山 宏平, 大平 真裕	消化器外科・移植外科	Fc-Gamma Receptor Polymorphisms Predispose Patients to Infectious Complications After Liver Transplantation	Am J Transplant. 2016 Feb;16(2):625-33. doi: 10.1111/ajt.13492. Epub 2015 Oct 30.
147	杉山 友加, 小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 谷峰 直樹, 田原 裕之, 黒田 慎太郎, 井手 健太郎, 石山 宏平, 大平 真裕	消化器外科・移植外科	Efficacy and Feasibility of Salvage Living Donor Liver Transplantation after Initial Liver Resection in Patients with Hepatocellular Carcinoma	Dig Surg. 2016;33(1):8-14. doi: 10.1159/000441397. Epub 2015 Nov 10.
148	小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 茶山 一彰, 大平 真裕	消化器外科・移植外科	An Analysis of Surgical Treatment for the Spontaneous Rupture of Hepatocellular Carcinoma	Dig Surg. 2016;33(1):43-50. doi: 10.1159/000441531, Epub 2015 Nov 19.
149	杉山 友加, 大段 秀樹, 茶山 一彰, 谷峰 直樹	消化器外科・移植外科	Functional Behavior of NKp46-Positive Intrahepatic Natural Killer Cells Against Hepatitis C Virus Reinfection After Liver Transplantation	Transplantation. 2016 Feb;100(2):355-64. doi: 10.1097/TP.0000000000001031.
150	小林 剛, 大段 秀樹, 田邊 和照, 谷峰 直樹, 田原 裕之, 清水 誠一, 赤羽 慎太郎, 黒田 慎太郎, 井手 健太郎, 石山 宏平, 大平 真裕	消化器外科・移植外科	Intraoperative assessment of tissue oxygen saturation of the remnant stomach by near-infrared spectroscopy in two cases of pancreatotomy following gastrectomy	Int J Surg Case Rep. 2016;22:75-8. doi: 10.1016/j.ijscr.2016.03.047. Epub 2016 Apr 2.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
151	大段 秀樹, 檜井 孝夫	消化器外科・移植外科	Significance of miR-148a in Colorectal Neoplasia: Downregulation of miR-148a Contributes to the Carcinogenesis and Cell Invasion of Colorectal Cancer	Pathobiology. 2015;82(5):233-41. doi: 10.1159/000438826. Epub 2015 Sep 22.
152	小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 茶山 一彰, 一戸 辰夫, 田原 裕之, 井手 健太郎, 石山 宏平, 有廣 光司, 大平 真裕	消化器外科・移植外科	Treatment of hepatic amyloid light-chain amyloidosis with bortezomib and dexamethasone in a liver transplant patient	Hepato Res. 2015 Oct;45(10):E150-5. doi: 10.1111/hepr.12462. Epub 2015 Jan 22.
153	大段 秀樹, 恵木 浩之	消化器外科・移植外科	Stochastic resonance enhanced tactile feedback in laparoscopic surgery	Surg Endosc. 2015 Dec;29(12):3811-8. doi: 10.1007/s00464-015-4124-y. Epub 2015 Mar 5.
154	小林 剛, 田代 裕尊, 大段 秀樹, 黒田 慎太郎	消化器外科・移植外科	Clinicopathological features of hepatocellular carcinoma in patients with nonalcoholic fatty liver disease	Langenbecks Arch Surg. 2015 May;400(4):471-6. doi: 10.1007/s00423-015-1295-x. Epub 2015 Mar 6.
155	田代 裕尊, 大段 秀樹, 茶山 一彰, 越智 秀典, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 石山 宏平, 川上 由香	消化器外科・移植外科	Two Patients Treated With Simeprevir Plus Pegylated-Interferon and Ribavirin Triple Therapy for Recurrent Hepatitis C After Living Donor Liver Transplantation: Case Report	Transplant Proc. 2015 Apr;47(3):809-14. doi: 10.1016/j.transproceed.2014.10.052.
156	服部 登, 河野 修興	内分泌・糖尿病内科	Airway inflammation in Japanese COPD patients compared with smoking and nonsmoking controls	Int J Chron Obstruct Pulmon Dis. 2015 Jan 23;10:185-92. doi: 10.2147/COPD.S74557. eCollection 2015.
157	大久保 博史	内分泌・糖尿病内科	LUBAC Formation Is Impaired in the Livers of Mice with MCD-Dependent Nonalcoholic Steatohepatitis	Mediators Inflamm. 2015;2015:125380. doi: 10.1155/2015/125380. Epub 2015 Jun 10.
158	大野 晴也, 河野 修興, 米田 真康, 大久保 博史	内分泌・糖尿病内科	Distinct Time Course of the Decrease in Hepatic AMP-Activated Protein Kinase and Akt Phosphorylation in Mice Fed a High Fat Diet	PLoS One. 2015 Aug 12;10(8):e0135554. doi: 10.1371/journal.pone.0135554. eCollection 2015.
159	大野 晴也, 河野 修興, 米田 真康, 有廣 光司, 沖 健司	内分泌・糖尿病内科	A Patient with an Extra-adrenal Pheochromocytoma and Germ-line SDHB Mutation Accompanied by an Atypical Meningioma	Intern Med. 2015;54(18):2355-60. doi: 10.2169/internalmedicine.54.4663. Epub 2015 Sep 15.
160	河野 修興, 米田 真康	内分泌・糖尿病内科	Regardless of central obesity, metabolic syndrome is a significant predictor of type2 diabetes in Japanese Americans	J Diabetes Investig. 2015 Sep;6(5):527-32. doi: 10.1111/jdi.12327. Epub 2015 Feb 13.

10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
161	河野 修興, 米田 真康, 沖 健司	内分泌・糖尿病内科	Hypothalamic-pituitary-adrenal axis activity is associated with the prevalence of chronic kidney disease in diabetic patients	Endocr J. 2016;63(2):119-26. doi: 10.1507/endocrj.EJ15-0360. Epub 2015 Nov 5.
162	大野 晴也, 米田 真康, 前田 修作	内分泌・糖尿病内科	Efficacy and safety of insulin degludec in Japanese patients with type 1 and type 2 diabetes: 24-week results from the observational study in routine clinical practice	J Diabetes Investig. 2016 Jan;7(1):94-9. doi: 10.1111/jdi.12373. Epub 2015 Jun 10.
163	大久保 博史	内分泌・糖尿病内科	Involvement of resistin-like molecule beta in the development of methionine-choline deficient diet-induced non-alcoholic steatohepatitis in mice	Sci Rep. 2016 Jan 28;6:20157. doi: 10.1038/srep20157.
164	重松 英朗	乳腺外科	Clinical Significance of Extracapsular Invasion at Sentinel Lymph Nodes in Breast Cancer Patients with Sentinel Lymph Node Involvement	Ann Surg Oncol. 2015 Jul;22(7):2365-71. doi: 10.1245/s10434-014-4269-2. Epub 2014 Dec 5.
165	勝谷 慎也	血液内科	Efficacy and safety of rituximab in Japanese patients with relapsed chronic immune thrombocytopenia refractory to conventional therapy	Int J Hematol. 2015 Dec;102(6):654-61.
166	今川 潤	血液内科	Discontinuation of dasatinib in patients with chronic myeloid leukaemia who have maintained deep molecular response for longer than 1 year (DAD1 trial): a multicentre phase 2 trial	Lancet Haematol. 2015 Dec;2(12):e528-35. doi: 10.1016/S2352-3026(15)00196-9. Epub 2015 Nov 10.
167	秀 道広, 柳瀬 雄輝, 平郡 隆明, 田中 暁生, 菅 崇暢	皮膚科	Evaluation of recombinant MGL_1304 produced by Pichia pastoris for clinical application to sweat allergy	Allergol Int. 2015 Jul;64(3):266-71. doi: 10.1016/j.allit.2015.03.003. Epub 2015 Apr 23.
168	秀 道広, 柳瀬 雄輝, 平郡 隆明, 高萩 俊輔, 田中 暁生, 菅 崇暢	皮膚科	A human monoclonal IgE antibody that binds to MGL_1304, a major allergen in human sweat, without activation of mast cells and basophils	Biochem Biophys Res Commun. 2015 Dec 4-11;468(1-2):99-104. doi: 10.1016/j.bbrc.2015.10.154. Epub 2015 Nov 2.
169	秀 道広, 柳瀬 雄輝	皮膚科	The Toll-like receptor 4-activated neuroprotective microglia subpopulation survives via granulocyte macrophage colony-stimulating factor and JAK2/STAT5 signaling	Neurochem Int. 2016 Feb;93:82-94. doi: 10.1016/j.neuint.2016.01.003. Epub 2016 Jan 21.
170	秀 道広	皮膚科	The EAACI/GA(2)LEN/EDF/WAO Guideline for the definition, classification, diagnosis, and management of urticaria: the 2013 revision and update	Allergy. 2014 Jul;69(7):868-87. doi: 10.1111/all.12313. Epub 2014 Apr 30.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
171	山崎 琢磨, 中前 敦雄	整形外科	Transstrochanteric rotational osteotomy combined with intra-articular procedures for pigmented villonodular synovitis of the hip	J Orthop Sci. 2015 Sep;20(5):943-50. doi: 10.1007/s00776-014-0563-x. Epub 2014 Apr 1.
172	中前 敦雄, 有馬 伸生	整形外科	Morphologic evaluation of remnant anterior cruciate ligament bundles after injury with three-dimensional computed tomography	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2016 Jan;24(1):148-53. doi: 10.1007/s00167-014-3351-1. Epub 2014 Oct 7.
173	有馬 伸生	整形外科	Distraction Arthroplasty With Arthroscopic Microfracture in a Patient With Rheumatoid Arthritis of the Ankle Joint	J Foot Ankle Surg. 2015 Mar-Apr;54(2):280-4. doi: 10.1053/j.jfas.2014.11.016. Epub 2015 Jan 22.
174	庄司 剛士, 亀井 直輔	整形外科	The effect of administration of double stranded MicroRNA-210 on acceleration of Achilles tendon healing in a rat model	J Orthop Sci. 2015 May;20(3):538-46. doi: 10.1007/s00776-015-0709-5. Epub 2015 Mar 11.
175	山崎 琢磨, 庄司 剛士	整形外科	Inclusion and Exclusion Criteria in the Diagnosis of Femoroacetabular Impingement	Arthroscopy. 2015 Jul;31(7):1403-10. doi: 10.1016/j.arthro.2014.12.022. Epub 2015 Mar 29.
176	中前 敦雄, 石川 正和, 有馬 伸生	整形外科	Unique patellofemoral alignment in a patient with a symptomatic bipartite patella	Knee. 2016 Jan;23(1):127-32. doi: 10.1016/j.knee.2015.04.009. Epub 2015 May 1.
177	石川 正和, 有馬 伸生, 亀井 直輔	整形外科	In Vivo Kinetics of Mesenchymal Stem Cells Transplanted into the Knee Joint in a Rat Model Using a Novel Magnetic Method of Localization	Clin Transl Sci. 2015 Oct;8(5):467-74. doi: 10.1111/cts.12284. Epub 2015 May 12.
178	藤森 淳, 久保 忠彦	整形外科	Prognostic value of PAX3/7-FOXO1 fusion status in alveolar rhabdomyosarcoma: Systematic review and meta-analysis	Crit Rev Oncol Hematol. 2015 Oct;96(1):46-53. doi: 10.1016/j.critrevonc.2015.04.012. Epub 2015 May 14.
179	藤森 淳, 久保 忠彦	整形外科	Quantitative (201)thallium scintigraphy for prediction of histological response to neoadjuvant chemotherapy in osteosarcoma; systematic review and meta-analysis	Surg Oncol. 2015 Sep;24(3):194-9. doi: 10.1016/j.suronc.2015.06.009. Epub 2015 Jun 12.
180	山崎 琢磨, 庄司 剛士	整形外科	Low femoral antetorsion as a risk factor for bony impingement after bipolar hemiarthroplasty	J Orthop Surg Res. 2015 Jul 7;10:105. doi: 10.1186/s13018-015-0248-y.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
181	有馬 伸生	整形外科	Combination therapy with intra-articular injection of mesenchymal stem cells and articulated joint distraction for repair of a chronic osteochondral defect in the rabbit	J Orthop Res. 2015 Oct;33(10):1466-73. doi: 10.1002/jor.22922. Epub 2015 Jul 20.
182	藤森 淳, 久保 忠彦	整形外科	Prognostic value of SS18-SSX fusion type in synovial sarcoma; systematic review and meta-analysis	Springerplus. 2015 Jul 25;4:375. doi: 10.1186/s40064-015-1168-3. eCollection 2015.
183	中島 祐子, 四宮 陸雄	整形外科	Comparative study on the effectiveness of corticosteroid injections between trigger fingers with and without proximal interphalangeal joint flexion contracture	J Hand Surg Eur Vol. 2016 Feb;41(2):198-203. doi: 10.1177/1753193415596497. Epub 2015 Jul 28.
184	山崎 琢磨, 庄司 剛士	整形外科	The influence of stem offset and neck shaft angles on the range of motion in total hip arthroplasty	Int Orthop. 2016 Feb;40(2):245-53. doi: 10.1007/s00264-015-2826-3. Epub 2015 Jul 30.
185	田中 信弘, 中西 一義, 亀井 直輔	整形外科	Electrophysiological assessments of the motor pathway in diabetic patients with compressive cervical myelopathy	J Neurosurg Spine. 2015 Dec;23(6):707-14. doi: 10.3171/2015.3.SPINE141060. Epub 2015 Sep 4.
186	久保 忠彦	整形外科	More than 20-year Follow-Up After Vascularised Fibula Head Graft for Oncological Shoulder Joint Reconstruction	Anticancer Res. 2016 Jan;36(1):301-5.
187	田中 信弘	整形外科	Microscopic Posterior Transdural Resection of Cervical Retro-Odontoid Pseudotumors	J Spinal Disord Tech. 2015 Dec;28(10):363-9. doi: 10.1097/BSD.0000000000000335.
188	有馬 伸生	整形外科	Tissue-engineered cartilage implantation for the chondral lesion in a patient with multiple epiphyseal dysplasia	J Orthop Sci. 2016 Jan;21(1):91-6. doi: 10.1016/j.jos.2015.06.005. Epub 2015 Jul 10.
189	山崎 琢磨	整形外科	Healing potential of the cartilage correlates with location on the femoral head: a basic research using a rabbit model	Hip Int. 2016 Jan-Feb;26(1):31-5. doi: 10.5301/hipint.5000303. Epub 2016 Jan 14.
190	河本 昌志, 安田 季道, 濱田 宏, 佐伯 昇, 大下 恭子, 中村 隆治, 三好 寛二, 加藤 貴大	麻酔科	Factors related to accidental dural puncture in epidural anesthesia patients	J Clin Anesth. 2015 Dec;27(8):665-7. doi: 10.1016/j.jclinane.2015.06.018. Epub 2015 Aug 8.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
191	河本 昌志, 安田 季道, 濱田 宏, 原木 俊明, 中村 隆治, 三好 寛二, 近藤 隆志, 大月 幸子	麻酔科	Several Ryanodine Receptor Type 1 Gene Mutations of p,Arg2508 Are Potential Sources of Malignant Hyperthermia	Anesth Analg. 2015 Oct;121(4):994-1000. doi: 10.1213/ANE.0000000000000886.
192	山崎 聡士, 杉山 英二	リウマチ・膠原病科	The proto-oncogene survivin splice variant 2B is induced by PDGF and leads to cell proliferation in rheumatoid arthritis fibroblast-like synoviocytes	Sci Rep. 2015 May 22;5:9795. doi: 10.1038/srep09795.
193	杉山 英二	リウマチ・膠原病科	CD1a(+) survivin(+) dendritic cell infiltration in dermal lesions of systemic sclerosis	Arthritis Res Ther. 2015 Sep 30;17:275. doi: 10.1186/s13075-015-0785-0.
194	河野 修興, 土井 盛博, 正木 崇生, 上野 敏憲, 有廣 光司	腎臓内科	Expression of age-related factors during the development of renal damage in patients with IgA nephropathy	Clin Exp Nephrol. 2015 Oct;19(5):830-7. doi: 10.1007/s10157-014-1070-2. Epub 2014 Dec 11.
195	入福 泰介, 正木 崇生	腎臓内科	Hemodialysis Immediately After Cardiac Catheterization Is a Risk Factor for Intradialytic Hypotension	Ther Apher Dial. 2015 Jun;19(3):245-9. doi: 10.1111/1744-9987.12252. Epub 2014 Dec 16.
196	土井 盛博, 正木 崇生, 上野 敏憲	腎臓内科	The Serum Lipids Levels may be Underestimated in Patients on Hemodialysis	Intern Med. 2015;54(8):887-94. doi: 10.2169/internalmedicine.54.2997. Epub 2015 Apr 15.
197	河野 修興, 土井 盛博, 正木 崇生, 上野 敏憲	腎臓内科	High glucose promotes TGF-beta 1 production by inducing FOS expression in human peritoneal mesothelial cells	Clin Exp Nephrol. 2016 Feb;20(1):30-8. doi: 10.1007/s10157-015-1128-9. Epub 2015 May 28.
198	河野 修興, 土井 盛博, 正木 崇生, 上野 敏憲, 有廣 光司, 佐々木 健介, 飛田 英祐	腎臓内科	Inhibition of SET Domain-Containing Lysine Methyltransferase 7/9 Ameliorates Renal Fibrosis	J Am Soc Nephrol. 2016 Jan;27(1):203-15. doi: 10.1681/ASN.2014090850. Epub 2015 Jun 4.
199	河野 修興, 土井 盛博, 正木 崇生, 上野 敏憲, 有廣 光司, 佐々木 健介	腎臓内科	Inhibition of H3K9 histone methyltransferase G9a attenuates renal fibrosis and retains klotho expression	Kidney Int. 2016 Jan;89(1):147-57. doi: 10.1038/ki.2015.291. Epub 2016 Jan 4.
200	土井 盛博, 佐々木 健介	腎臓内科	Efficacy of add-on therapy of aliskiren to an angiotensin II receptor blocker on renal outcomes in advanced-stage chronic kidney disease: a prospective, randomized, open-label study	Clin Exp Nephrol. 2015 Aug;19(4):631-8. doi: 10.1007/s10157-014-1044-4. Epub 2014 Oct 22.

10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
201	土井 盛博, 正木 崇生	腎臓内科	Vascular access intervention by a nephrologist in Hiroshima	J Vasc Access. 2015 Nov;16 Suppl 10:S58-61. doi: 10.5301/jva.5000418. Epub 2015 Sep 4.
202	亭島 淳, 松原 昭郎, 井上 省吾, 北野 弘之, 正路 晃一	泌尿器科	FGF19 Promotes Progression of Prostate Cancer	Prostate. 2015 Jul 1;75(10):1092-101. doi: 10.1002/pros.22994. Epub 2015 Apr 8.
203	亭島 淳, 松原 昭郎, 井上 省吾	泌尿器科	Needlescopic-assisted laparoendoscopic single-site adrenalectomy	Asian J Surg. 2016 Jan;39(1):6-11. doi: 10.1016/j.asjsur.2015.02.004. Epub 2015 Apr 23.
204	松原 昭郎, 栗栖 薫, 杉山 一彦, 岩本 秀雄, 有廣 光司	泌尿器科	Promotion of Cancer Cell Proliferation by Cleaved and Secreted Luminal Domains of ER Stress Transducer BBF2H7	PLoS One. 2015 May 8;10(5):e0125982. doi: 10.1371/journal.pone.0125982. eCollection 2015.
205	松原 昭郎	泌尿器科	Pin1 Inhibitor Juglone Exerts Anti-Oncogenic Effects on LNCaP and DU145 Cells despite the Patterns of Gene Regulation by Pin1 Differing between These Cell Lines	PLoS One. 2015 Jun 3;10(6):e0127467. doi: 10.1371/journal.pone.0127467. eCollection 2015.
206	山本 秀也, 木原 康樹, 檜垣 徹, 栗井 和夫, 福本 航, 立神 史稔, 折田 陽子	放射線診断科	Radiation dose reduction for coronary artery calcium scoring at 320-detector CT with adaptive iterative dose reduction 3D	Int J Cardiovasc Imaging. 2015 Jun;31(5):1045-52. doi: 10.1007/s10554-015-0637-7. Epub 2015 Mar 10.
207	松原 昭郎, 栗井 和夫, 本田 有紀子	放射線診断科	T Categorization of Urothelial Carcinomas of the Ureter With CT: Preliminary Study of New Diagnostic Criteria Proposed for Differentiating T2 or Lower From T3 or Higher	AJR Am J Roentgenol. 2015 Apr;204(4):792-7. doi: 10.2214/AJR.14.13167.
208	村上 義昭, 上村 健一郎, 栗井 和夫, 梶原 賢司, 石川 雅基	放射線診断科	Arteriography after embolization before distal pancreatectomy with en bloc celiac axis resection	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2015;24(6):350-5. doi: 10.3109/13645706.2015.1034729. Epub 2015 Apr 8.
209	栗井 和夫	放射線診断科	Geographic Distribution of CT, MRI and PET Devices in Japan: A Longitudinal Analysis Based on National Census Data	PLoS One. 2015 May 6;10(5):e0126036. doi: 10.1371/journal.pone.0126036. eCollection 2015.
210	栗井 和夫	放射線診断科	Delivering the Saline Chaser Via a Spiral Flow-Generating Tube Improves Arterial Enhancement for Computed Tomography Angiography of the Lower Extremities	J Comput Assist Tomogr. 2015 Nov-Dec;39(6):962-8. doi: 10.1097/RCT.0000000000000292.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
211	村上 義昭, 田代 裕尊, 栗井 和夫, 大毛 宏喜, 梶原 賢司, 石川 雅基	放射線診断科	Embolization therapy for bleeding from jejunal loop varices due to extrahepatic portal vein obstruction	Minim Invasive Ther Allied Technol. 2016;25(1):57-61. doi: 10.3109/13645706.2015.1075557. Epub 2015 Aug 28.
212	栗井 和夫	放射線診断科	Balloon-occluded retrograde transvenous obliteration of gastric varix with multiple drainage veins performed with temporal occlusion of the pericardiacophrenic vein with a micro-balloon	Acta Radiol Open. 2015 Aug 25;4(8):2047981614558328. doi: 10.1177/2047981614558328. eCollection 2015.
213	山脇 成人, 岡田 剛, 岡本 泰昌, 楢垣 徹, 栗井 和夫	放射線診断科	Changes in the regional cerebral blood flow detected by arterial spin labeling after 6-week escitalopram treatment for major depressive disorder	J Affect Disord. 2016 Apr;194:135-43. doi: 10.1016/j.jad.2015.12.062. Epub 2016 Jan 21.
214	栗井 和夫	放射線診断科	Geographic Distribution of Radiologists and Utilization of Teleradiology in Japan: A Longitudinal Analysis Based on National Census Data	PLoS One. 2015 Sep 30;10(9):e0139723. doi: 10.1371/journal.pone.0139723. eCollection 2015.
215	栗井 和夫, 梶原 賢司	放射線診断科	Embolization for type 2 endoleak with sac expansion after endovascular repair of abdominal aortic aneurysm: safety and effectiveness	Springerplus. 2016 Mar 25;2:62. doi: 10.1186/s40064-016-1934-x. eCollection 2016.
216	茶山 一彰, 永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 栗井 和夫, 相方 浩, 木村 智樹, 高橋 一平	放射線治療科	Stereotactic body radiotherapy for patients with small hepatocellular carcinoma ineligible for resection or ablation therapies	Hepatol Res. 2015 Apr;45(4):378-86. doi: 10.1111/hepr.12359. Epub 2014 Jun 16.
217	茶山 一彰, 永田 靖, 権丈 雅浩, 栗井 和夫, 小林 知樹, 平松 憲, 相方 浩, 今村 道雄, 河岡 友和, 木村 智樹, 川上 由音	放射線治療科	Role of 3-D conformal radiotherapy for major portal vein tumor thrombosis combined with hepatic arterial infusion chemotherapy for advanced hepatocellular carcinoma	Hepatol Res. 2015 Jun;45(6):607-17. doi: 10.1111/hepr.12392. Epub 2014 Aug 19.
218	永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 木村 智樹, 岡部 智行	放射線治療科	Long-term results of definitive concurrent chemoradiotherapy for patients with esophageal submucosal cancer (T1bN0M0)	Int J Clin Oncol. 2015 Oct;20(5):897-904. doi: 10.1007/s10147-015-0819-2. Epub 2015 Mar 24.
219	永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 楢原 淳, 浜井 洋一, 岡田 守人	放射線治療科	Results of Neoadjuvant Chemoradiotherapy With Docetaxel and 5-Fluorouracil Followed by Esophagectomy to Treat Locally Advanced Esophageal Cancer	Ann Thorac Surg. 2015 Jun;99(6):1887-93. doi: 10.1016/j.athoracsur.2015.02.042. Epub 2015 Apr 23.
220	永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 杉山 一彦, 山崎 文之, 木村 智樹, 岡部 智行	放射線治療科	Results of sequential chemoradiotherapy for intracranial germinoma	Jpn J Radiol. 2015 Jun;33(6):336-43. doi: 10.1007/s11604-015-0424-3. Epub 2015 May 6.

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
221	茶山 一彰, 永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 相方 浩, 木村 智樹	放射線治療科	The Time Course of Dynamic Computed Tomographic Appearance of Radiation Injury to the Cirrhotic Liver Following Stereotactic Body Radiation Therapy for Hepatocellular Carcinoma	PLoS One. 2015 Jun 11;10(6):e0125231. doi: 10.1371/journal.pone.0125231. eCollection 2015.
222	茶山 一彰, 永田 靖, 檜垣 徹, 栗井 和夫, 相方 浩, 木村 智樹, 本田 有紀子, 飯田 慎	放射線治療科	Clinical utility of gadoxetate disodium-enhanced hepatic MRI for stereotactic body radiotherapy of hepatocellular carcinoma	Jpn J Radiol. 2015 Oct;33(10):627-35. doi: 10.1007/s11604-015-0465-7. Epub 2015 Jul 31.
223	小澤 修一, 永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 木村 智樹, 川畑 秀雄, 岡部 智行, 西潤 いくの	放射線治療科	Combined Ventilation and Perfusion Imaging Correlates With the Dosimetric Parameters of Radiation Pneumonitis in Radiation Therapy Planning for Lung Cancer	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2015 Nov 15;93(4):778-87. doi: 10.1016/j.ijrobp.2015.08.024. Epub 2015 Aug 19.
224	永田 靖	放射線治療科	Prospective Trial of Stereotactic Body Radiation Therapy for Both Operable and Inoperable T1N0M0 Non-Small Cell Lung Cancer: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG0403	Int J Radiat Oncol Biol Phys. 2015 Dec 1;93(5):989-96. doi: 10.1016/j.ijrobp.2015.07.2278. Epub 2015 Nov 11.
225	永田 靖, 権丈 雅浩, 村上 祐司, 木村 智樹	放射線治療科	Evaluation of adverse events in atomic bomb survivors receiving curative-intent radiation therapy from 2005 to 2010	Radiother Oncol. 2016 Jan;118(1):60-4. doi: 10.1016/j.radonc.2015.11.024. Epub 2015 Dec 19.
226	永田 靖, 権丈 雅浩, 檜垣 徹, 栗井 和夫, 立神 史稔	放射線治療科	Cerebral blood flow in transient hypothyroidism after thyroidectomy: Arterial spin labeling magnetic resonance study	Neuro Endocrinol Lett. 2015 Dec;36(6):545-51.
227	小林 正夫, 唐川 修平, 岡田 賢, 平田 修	小児科	Mosaicism of an ELANE Mutation in an Asymptomatic Mother in a Familial Case of Cyclic Neutropenia	J Clin Immunol. 2015 Jul;35(5):512-6. doi: 10.1007/s10875-015-0165-1. Epub 2015 Apr 26.
228	小林 正夫, 小林 良行, 藤井 裕士, 石川 暢恒	小児科	Late-onset epileptic spasms in a patient with 22q13.3 deletion syndrome	Brain Dev. 2016 Jan;38(1):109-12. doi: 10.1016/j.braindev.2015.06.002. Epub 2015 Jun 17.
229	小林 正夫, 岡田 賢	小児科	Impairment of immunity to Candida and Mycobacterium in humans with bi-allelic RORC mutations	Science. 2015 Aug 7;349(6248):606-13. doi: 10.1126/science.1248282. Epub 2015 Jul 9.
230	小林 正夫	小児科	Perceived Parenting Mediates Serotonin Transporter Gene (5-HTTLPR) and Neural System Function during Facial Recognition: A Pilot Study	PLoS One. 2015 Sep 29;10(9):e0134685. doi: 10.1371/journal.pone.0134685. eCollection 2015.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
231	小林 正夫, 岡田 賢, 茶山 一彰, 早川 誠一, 坂田 園子, 上野 義隆	小児科	A Patient with CTLA-4 Haploinsufficiency Presenting Gastric Cancer	J Clin Immunol. 2016 Jan;36(1):28-32. doi: 10.1007/s10875-015-0221-x. Epub 2015 Dec 8,
232	末田 泰二郎, 栗原 将, 鬼武 美幸	小児外科	Circulating free DNA as non-invasive diagnostic biomarker for childhood solid tumors	J Pediatr Surg. 2015 Dec;50(12):2094-7. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2015.08.033. Epub 2015 Aug 28.
233	栗原 将, 鬼武 美幸	小児外科	Mortality and morbidity in primarily resected hepatoblastomas in Japan: Experience of the JPLT (Japanese Study Group for Pediatric Liver Tumor) trials	J Pediatr Surg. 2015 Dec;50(12):2098-101. doi: 10.1016/j.jpedsurg.2015.08.035. Epub 2015 Aug 28.
234	廣橋 伸之, 岩崎 泰昌, 大谷 直嗣, 貞森 拓磨	救急科	Influence of clinical experience of the Macintosh laryngoscope on performance with the Pentax-AWS Airway Scope(A (R)), a rigid video-laryngoscope, by paramedics in Japan	J Anesth. 2015 Oct;29(5):672-7. doi: 10.1007/s00540-014-1960-1. Epub 2014 Dec 20.
235	檜原 淳, 浜井 洋一, 岡田 守人, 山北 伊知子	原医研腫瘍外科	Effects of neoadjuvant chemoradiotherapy on postoperative morbidity and mortality associated with esophageal cancer	Dis Esophagus. 2015 May-Jun;28(4):358-61. doi: 10.1111/dote.12207. Epub 2014 Mar 11.
236	岡田 守人	原医研腫瘍外科	Surgical outcomes of non-small-cell lung carcinoma in patients previously treated for gastric cancer	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Apr;47(4):648-52. doi: 10.1093/ejcts/ezu260. Epub 2014 Jun 30.
237	宮田 義浩, 岡田 守人, 津谷 康大	原医研腫瘍外科	Prediction of lymph node status in clinical stage IA squamous cell carcinoma of the lung	Eur J Cardiothorac Surg. 2015 Jun;47(6):1022-6. doi: 10.1093/ejcts/ezu363. Epub 2014 Oct 7.
238	岡田 守人, 重松 英朗, 舛本 法生, 惠美 純子, 角舎 学行	原医研腫瘍外科	The Efficacy and Safety of Preoperative Chemotherapy With Triweekly Abraxane and Cyclophosphamide Followed by 5-Fluorouracil, Epirubicin, and Cyclophosphamide Therapy for Resectable Breast Cancer: A Multicenter Clinical Trial	Clin Breast Cancer. 2015 Apr;15(2):110-6. doi: 10.1016/j.clbc.2014.09.010. Epub 2014 Oct 2.
239	宮田 義浩, 岡田 守人, 津谷 康大, 三村 剛史	原医研腫瘍外科	What are the radiologic findings predictive of indolent lung adenocarcinoma?	Jpn J Clin Oncol. 2015 Apr;45(4):367-72. doi: 10.1093/jjco/hyv005. Epub 2015 Jan 27.
240	宮田 義浩, 岡田 守人, 三村 剛史, 有廣 光司	原医研腫瘍外科	Histologic changes associated with the use of fibrinogen- and thrombin-impregnated collagen in the prevention of pulmonary air leakage	J Thorac Cardiovasc Surg. 2015 Apr;149(4):982-8. doi: 10.1016/j.jtcvs.2014.12.058. Epub 2015 Jan 8.

註10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
241	宮田 義浩, 岡田 守人, 三村 剛史	原医研腫瘍外科	Negative prognostic influence of micropapillary pattern in stage IA lung adenocarcinoma	Eur J Cardiothorac Surg. 2016 Jan;49(1):293-9. doi: 10.1093/ejcts/ezv058. Epub 2015 Mar 11.
242	岡田 守人	原医研腫瘍外科	Surgical Outcomes of Lung Cancer in Patients with Combined Pulmonary Fibrosis and Emphysema	Ann Surg Oncol. 2015 Dec;22 Suppl 3:S1371-9. doi: 10.1245/s10434-015-4577-1. Epub 2015 May 9.
243	岡田 守人	原医研腫瘍外科	Randomized Phase II Study of Adjuvant Chemotherapy with Long-term S-1 versus Cisplatin+S-1 in Completely Resected Stage II-IIIa Non-Small Cell Lung Cancer	Clin Cancer Res. 2015 Dec 1;21(23):5245-52. doi: 10.1158/1078-0432.CCR-14-3160. Epub 2015 Aug 7.
244	宮田 義浩, 岡田 守人, 津谷 康大, 古川 高意	原医研腫瘍外科	Association between [F-18]-fluoro-2-deoxyglucose uptake and expressions of hypoxia-induced factor 1 alpha and glucose transporter 1 in non-small cell lung cancer	Jpn J Clin Oncol. 2015 Dec;45(12):1154-61. doi: 10.1093/jco/hyv138. Epub 2015 Sep 18.
245	宮田 義浩, 岡田 守人, 津谷 康大	原医研腫瘍外科	The Difference in Maximum Standardized Uptake Value among Lung Adenocarcinomas Located at the Upper and Lower Zone on PET/CT	Respiration. 2015;90(4):293-8. doi: 10.1159/000437096. Epub 2015 Aug 12.
246	宮田 義浩, 岡田 守人	原医研腫瘍外科	Use of Anti-Noxa Antibody for Differential Diagnosis between Epithelioid Mesothelioma and Reactive Mesothelial Hyperplasia	Pathobiology. 2016;83(1):33-40. doi: 10.1159/000442092. Epub 2016 Jan 7.
247	三上 幸夫, 木村 浩彰	リハビリテーション科	The effect of anti-gravity treadmill training for prosthetic rehabilitation of a case with below-knee amputation	Prosthet Orthot Int. 2015 Dec;39(6):502-6. doi: 10.1177/0309364614532866. Epub 2014 May 12.
248	末田 泰二郎, 木村 浩彰, 黒崎 達也, 片山 桂次郎, 今井 克彦, 高橋 信也, 田口 隆 浩, 渡邊 正清	リハビリテーション科	Efficacy of Cardiopulmonary Rehabilitation With Adaptive Servo-Ventilation in Patients Undergoing Off-Pump Coronary Artery Bypass Grafting	Circ J. 2015;79(6):1290-8. doi: 10.1253/circj.CJ-14-1078. Epub 2015 Mar 13.
249	松尾 裕彰	薬剤部	Sodium Cromoglycate Prevents Exacerbation of IgE-Mediated Food-Allergic Reaction Induced by Aspirin in a Rat Model of Egg Allergy	Int Arch Allergy Immunol. 2015;167(3):193-202. doi: 10.1159/000437328. Epub 2015 Aug 25.
250	埜越 崇範, 松尾 裕彰	薬剤部	Common food allergens and their IgE-binding epitopes	Allergol Int. 2015 Oct;64(4):332-43. doi: 10.1016/j.allit.2015.06.009. Epub 2015 Jul 29.

計10

番号	発表者氏名	発表者の所属	題名	雑誌名
251	岡 志郎	内視鏡診療科	Improved visibility of colorectal flat tumors using image-enhanced endoscopy	Dig Endosc. 2015 Apr;27 Suppl 1:35-9. doi: 10.1111/den.12445.
252	田中 信治	内視鏡診療科	JGES guidelines for colorectal endoscopic submucosal dissection/endoscopic mucosal resection	Dig Endosc. 2015 May;27(4):417-34. doi: 10.1111/den.12456. Epub 2015 Mar 5.
253	田中 信治, 岡 志郎	内視鏡診療科	Local Recurrence After Endoscopic Resection for Large Colorectal Neoplasia: A Multicenter Prospective Study in Japan	Am J Gastroenterol. 2015 May;110(5):697-707. doi: 10.1038/ajg.2015.96. Epub 2015 Apr 7.
254	田中 信治, 卜部 祐司	内視鏡診療科	Impact of revisions of the JSCCR guidelines on the treatment of T1 colorectal carcinomas in Japan	Z Gastroenterol. 2015 Apr;53(4):291-301. doi: 10.1055/s-0034-1385764. Epub 2015 Apr 10.
255	田中 信治	内視鏡診療科	Defocus-aware Dirichlet particle filter for stable endoscopic video frame recognition	Artif Intell Med. 2016 Mar;68:1-16. doi: 10.1016/j.artmed.2016.03.002. Epub 2016 Mar 18.
256	飛田 英祐	総合医療研究推進センター	Characteristic miR-24 Expression in Gastric Cancers among Atomic Bomb Survivors	Pathobiology. 2015;82(2):68-75. doi: 10.1159/000398809. Epub 2015 May 30.
257	味八木 茂, 亀井 直輔	未来医療センター	Mesenchymal-stem-cell-derived exosomes accelerate skeletal muscle regeneration	FEBS Lett. 2015 May 8;589(11):1257-65. doi: 10.1016/j.febslet.2015.03.031. Epub 2015 Apr 8.
258	味八木 茂	未来医療センター	Bach1 deficiency reduces severity of osteoarthritis through upregulation of heme oxygenase-1	Arthritis Res Ther. 2015 Oct 13;17:285. doi: 10.1186/s13075-015-0792-1.
259	横田 和典, 亀井 直輔	未来医療センター	Promotion of skeletal muscle repair in a rat skeletal muscle injury model by local injection of human adipose tissue-derived regenerative cells	J Tissue Eng Regen Med. 2015 Oct;9(10):1150-60. doi: 10.1002/term.1659. Epub 2012 Dec 14.

計9
合計259

(注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が申請の前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。

2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る)。

3 「発表者の所属」については、論文に記載されている所属先をすべて記載すること。

4 「雑誌名」欄には、「雑誌名」「巻数・号数」「該当ページ」「出版年」について記載すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
臨床情報医学に卓越した地域の先進医療をチームで担う人材育成	越智 光大	学長, 整形外科	37,151,000	補 委 文部科学省
課題解決型高度医療人材養成プログラム	菅井 基行	大学院医歯薬保健学研究院基礎生命科学部門	7,000,000	補 委 国立大学法人東京医科歯科大学
医療・介護用サポーター等に持続的な抗菌効果を付加するための再生リチャージ可能な抗菌繊維の開発	阿部 泰彦	大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門	2,104,134	補 委 公益財団法人ちゅうごく産業創造センター
ラット神経因性疼痛モデルにおけるヒト化抗HMGB1抗体効果の評価	仲田 義啓	大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門	2,000,000	補 委 国立大学法人 岡山大学
がん診療連携拠点病院機能強化事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	37,510,000	補 委 厚生労働省
感染症対策特別推進事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	17,341,000	補 委 厚生労働省
ドクターヘリ導入促進事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	217,963,000	補 委 広島県
心不全地域連携サポートチーム体制の構築事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	4,679,000	補 委 広島県
難病特別対策推進事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,007,000	補 委 厚生労働省
小児医療施設設備整備事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2,844,000	補 委 広島県
広島県ドクターヘリ消防無線デジタル化事業費補助金	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	29,355,000	補 委 広島県
第一種感染症病床指定医療機関整備事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	10,000,000	補 委 広島県
産科医等確保支援事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	989,000	補 委 広島県
新人看護職員研修事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1,267,000	補 委 広島県
感染症予防事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	5,212,000	補 委 広島県
防災訓練等参加支援事業	平川 勝洋	病院長, 耳鼻咽喉科・頭頸部外科	328,000	補 委 広島県
Noda epileptic ratを用いた迷走神経刺激療法作用機序解明	飯田 幸治	脳神経外科	200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
悪性脳腫瘍に対するVEGF阻害剤投与時の画像診断法の確立	山崎 文之	脳神経外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
中性子捕捉療法法のホウ素担体としての標的アデノウイルスベクターの確立	濱 聖司	脳神経外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳磁図データ統一化ツールの開発	香川 幸太	脳神経外科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
非機能性下垂体腺腫細胞の多ホルモン分泌機序解明-人工下垂体への応用を目指して	富永 篤	脳神経外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
微小重力環境を用いた下垂体幹細胞の培養技術の開発-人工下垂体への応用を目指して	栗栖 薫	脳神経外科	1,310,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
C型肝炎ウイルスゲノム変異とヒトゲノム多型の相関に関する研究	越智 秀典	脳神経内科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Optineurinによる筋萎縮性側索硬化症発症機序の解明	永野 義人	脳神経内科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
オプチニューリン変異マウスによる筋萎縮性側索硬化症の病態解明・治療法の開発	丸山 博文	脳神経内科	3,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
トレハロースと微小重力下で培養した幹細胞による脊髄神経の保護と再生	高橋 信也	脳神経内科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳梗塞における神経細胞死誘導機構の解明と急性期血液診断法の開発	細見 直水	脳神経内科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
PTSDにおける脳由来神経栄養因子の治療効果およびエピジェネティクス解析	淵上 学	精神科	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
うつ病の再発をもたらす脆弱性の改善を目的とした認知神経科学的介入技法の開発	山本 哲也	精神科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
うつ病の神経回路病態の解明とそのリモデリングに関わる基盤研究	山脇 成人	精神科	16,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
仮想現実への自己投影が身体認知と感情反応に与える影響	金山 範明	精神科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
高齢期うつ病の1次・2次予防に向けたBDNFのエピジェネティクス疫学の縦断的研究	淵上 学	精神科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
治療標的遺伝子のメチル化及びCNVによる気分障害の治療抵抗性マーカーの創出	淵上 学	精神科	150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
認知行動療法の神経科学的基盤の解明	岡本 泰昌	精神科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
物体の外観の能動的探索による物体認知促進メカニズムの解明	笹岡 貴史	精神科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
分子から社会までの総合的アプローチによる自己制御の形成・修復支援	岡本 泰昌	精神科	9,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
角膜炎感染症に対する光線力学的抗微生物化学療法(PACT)の開発と臨床応用	近間 泰一郎	眼科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
眼球の剛性は緑内障の危険因子か	木内 良明	眼科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
神経-角膜上皮-角膜実質細胞3者共培養システムの開発及び角膜機能維持機構の解明	高知愛	眼科	2,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
被曝放射線量の血管径への影響と緑内障、加齢黄斑変性症との関係	竹中 丈二	眼科	400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
各種老化因子の制御による加齢性内耳障害の予防・治療法開発の分子生物学的研究	工田 昌也	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯間連鎖維芽細胞の筋線維芽細胞への分化による腫瘍進展促進:PAI-1の関与の検討	益田 武	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
I型肺胞上皮由来の新規特発性肺線維症バイオマーカーRAGEの開発と創薬の試み	岩本 博志	呼吸器内科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
エイコサペンタエン酸によるGPR120を介したベージュ細胞誘導効果の研究	大野 晴也	呼吸器内科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
国際共同研究による間質性肺炎の新規バイオマーカーの開発と創薬の試み	河野 修典	呼吸器内科	5,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺癌への個別化免疫療法の開発:変異遺伝子由来抗原の同定とIPS細胞技術の応用	服部 登	呼吸器内科	3,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺癌への個別化免疫療法の開発:変異遺伝子由来抗原の同定とIPS細胞技術の応用	服部 登	呼吸器内科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
薬剤に対してブライムされた骨髄細胞に焦点を当てた薬剤性肺障害の病態解明	中島 拓	呼吸器内科	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BNPを介した新規Cancer autocrine pathwayの解明	津谷 康大	呼吸器外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メタボローム解析による悪性胸膜中皮腫細胞の低酸素応答機構の解明	宮田 義浩	呼吸器外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肺気腫発生・進展の新規メカニズムの解明:その発症・重症化の予防と新規治療薬の開発	岡田 守人	呼吸器外科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺腺癌の悪性化進展メカニズムの解明	山北 伊知子	呼吸器外科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
網羅的プロテオミクスとジェノミクスによる肺癌リンパ節転移機構の解明と新分類の提唱	伊藤 正興	呼吸器外科	2,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
セマフォリン3A遺伝子変異と関連する特発性心室細動発症の分子病態メカニズムの解明	中野 由紀子	循環器内科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリア酵素ALDH2遺伝子変異と心不全:iPS細胞誘導心筋細胞での検討	木原 康樹	循環器内科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心外膜下脂肪組織の多面的病的意義の解明 -画像診断と組織学的解析による検討-	北川 知郎	循環器内科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
心膜脂肪組織における細胞性免疫異常と冠動脈粥状硬化	山本 秀也	循環器内科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
放射線誘発性動脈硬化性疾患の発症メカニズムにおけるDNA損傷応答の役割	石田 隆史	循環器内科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
胸部動脈瘤ステントグラフト術後の遅延性対麻痺予測法と治療法の開発	末田 泰二郎	心臓血管外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
胸部動脈瘤ステントグラフト術後の遅延性対麻痺予測法と治療法の開発	高崎 泰一	心臓血管外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
微小重力培養した骨髄間葉系幹細胞による胸部大動脈瘤術後対麻痺の再生治療	末田 泰二郎	心臓血管外科	2,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
微小重力培養骨髄間葉系幹細胞と磁性粒子を用いた重症虚血肢再生治療	末田 泰二郎	心臓血管外科	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
DAA耐性型HCVに対する治療法の開発	今村 道雄	消化器・代謝内科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト肝細胞キメラマウスとパキキュロウイルスを用いた遺伝病モデルの創生	阿部 弘美	消化器・代謝内科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
安定同位体ラベルヒト初代培養肝細胞とウイルスを用いた抗ウイルス治療の開発	茶山 一彰	消化器・代謝内科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小胞体ストレスセンサー-BBF2H7による細胞増殖制御機構の解析	張 エキ苗	消化器・代謝内科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BRAFシグナル伝達系に対する抑制因子の同定とBRAF変異型大腸癌の治療法開発	石崎 康代	消化器外科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
CD24発現制御による胃癌治療法への応用	田邊 和照	消化器外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
CRISPR/CAS9 ゲノム編集システムを使った新規大腸癌動物モデルの作製	檜井 孝夫	消化器外科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
DNA修復阻害による合成致死性を応用した新たな食道癌化学放射線療法の開発	浜井 洋一	消化器外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Foxp3遺伝子多型と細胞内シグナル解析による臓器移植の制御性T細胞応答の解明	田中 友加	消化器外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
microRNA制御を応用した新しい食道癌化学放射線療法の開発	檜原 淳	消化器外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ケモカインCXCL9/CXCR3経路に基づく肝臓内NK細胞活性化機構の解明	大平 真裕	消化器外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒトマウスを用いた同種/異種抗体関連型拒絶反応の新規制御法の確立	田原 裕之	消化器外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒトマウスを用いた同種移植における抗ドナー抗体産生制御法の開発	井手 健太郎	消化器外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
ヒト膵癌における転移と抗癌剤耐性獲得メカニズム:多光子励起蛍光顕微鏡による解析	橋本 泰司	消化器外科	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
マイクロサテライト不安定性大腸癌に対する新規分子標的治療の開発	下村 学	消化器外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
悪性胸膜中皮腫における次世代シーケンサーを用いた抗癌剤耐性メカニズムの解析	古川 高恵	消化器外科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝子多型に起因するNK細胞の機能脆弱を克服する免疫賦活法の開発	大段 秀樹	消化器外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝子不安定性の異なるサブクラス分類に有用な新規マウス大腸癌疾患モデルの確立	楢井 孝夫	消化器外科	3,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
肝星細胞を標的とした肝細胞癌に対する新規治療法の開発	田代 裕尊	消化器外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞による肝臓内免疫細胞の膵島グラフト傷害抑制メカニズムの解明	石山 宏平	消化器外科	1,100,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
多機能抑制性B細胞による臓器移植の新規脱感作・免疫寛容誘導法の開発	大段 秀樹	消化器外科	12,000,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
多機能抑制性B細胞による臓器移植の新規脱感作・免疫寛容誘導法の開発	大段 秀樹	消化器外科	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
胆管癌における神経周囲浸潤と関連分子の発現モデル研究	上村 健一郎	消化器外科	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
超小型広視野角カメラ画像情報合成による没入型内視鏡外科支援システムの開発と応用	黒木 浩之	消化器外科	1,600,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
免疫関連遺伝子多型解析に基づいた肝細胞癌循環腫瘍細胞制御法の開発	小林 剛	消化器外科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
門脈圧亢進症/肝線維化に対するリボソーム化Rhoキナーゼ阻害剤を用いた治療法	黒田 慎太郎	消化器外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
膵癌患者の末梢血検体におけるcell-free DNA KRAS遺伝子変異の研究	村上 義昭	消化器外科	1,500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
膵組織から膵幹細胞の分離方法の確立と、膵外分泌機能不全に対する治療方法の開発	近藤 成	消化器外科	700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
AU-rich element 依存性mRNA制御と関節リウマチ滑膜細胞機能変換	山崎 聡士	リウマチ・膠原病科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
米国におけるリウマチコホートの調査による診断・予後予測システムの開発	山崎 聡士	リウマチ・膠原病科	500,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
Immune checkpointを標的としたHER2乳癌に対する薬物療法の開発	重松 英朗	乳癌外科	1,400,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
Wnt5a陽性乳癌の薬剤耐性獲得機構の解明と抗癌療法への応用	梶谷 桂子(滑川桂子)	乳癌外科	900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
新規Wnt5a関連細胞接着因子ALCAMを標的とした新しい乳癌治療法の開発	角舎 学行	乳癌外科	1,200,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
IFN-γシグナル伝達異常症で認める破骨細胞機能促進の分子病態解析	津村 弥来	小児科	1,900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
iPS細胞とヒト疾患モデルマウスを用いたSTAT1シグナル異常症の病態解析	小林 正夫	小児科	1,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
iPS細胞を用いた好中球減少症の病態解析	唐川 修平	小児科	1,700,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
MSMDの新規責任遺伝子同定と多発性骨髄炎発症に関与する分子病態解析	平田 修	小児科	2,300,000	補委 文部科学省科学研究費補助金
自閉症スペクトラム児の社会性障害と前頭葉機能に関するイメージングジェネティクス	梶橋 あい子(山崎あい子)	小児科	900,000	補委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
疾患特異的iPS細胞を利用した先天性好中球減少の病態解明と新規治療薬探索	溝口 洋子	小児科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新生児スクリーニングで見られるMCAD欠損症例の急性発症リスク評価に関する研究	但馬 剛	小児科	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工スクレアーゼによる食細胞異常症由来iPS細胞の遺伝子修復に関する研究	小林正夫	小児科	4,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性皮膚粘膜カンジダ症の新規責任遺伝子の同定とSTAT1異常に伴う分子病態の解析	岡田 賢	小児科	200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性皮膚粘膜カンジダ症の新規責任遺伝子の同定とSTAT1異常に伴う分子病態の解析	岡田 賢	小児科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ゼブラフィッシュを用いた全個体レベルでの免疫系解析モデルの開発	一戸 辰夫	血液内科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
急性および晩発性放射線障害に対する包括的細胞治療法の開発	一戸 辰夫	血液内科	4,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌モデル動物の抗腫瘍免疫能に低線量・低線量率放射線被ばくが及ぼす影響	一戸 辰夫	血液内科	200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アトピー性皮膚炎における皮膚細菌叢と皮膚免疫の解析	岩本 和真	皮膚科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
コリン性蕁麻疹における汗アレルギーの解明と新規診断・治療法の開発	平郡 隆明	皮膚科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
複雑系3次元ナノメタマテリアルの創成	柳瀬 雄輝	皮膚科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性蕁麻疹の病態における血液凝固系駆動機序の検討	森桶 聡	皮膚科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性蕁麻疹病態における好塩基球と血液凝固反応の役割解明	柳瀬 雄輝	皮膚科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
類洞内皮細胞を利用した食物アレルギーの予防法の開発	田中 暁生	皮膚科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
マイクロRNAと磁気ターゲティングを併用した難治性骨折の治療戦略	越智 光夫	整形外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
下肢変形性関節症に対するハイブリッドフィジオセラピーの効果	三上 幸夫	リハビリテーション科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
鏡視下腫瘍広範切除のための新しい蛍光バイオイメージングの開発	久保 忠彦	整形外科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
光を用いた離断性骨軟骨炎に対する新たな画像診断システムの開発	石川 正和	整形外科	2,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨壊死に対するmicroRNA導入骨髄単核球細胞を用いた血管・骨再生に関する研究	庄司 剛士	整形外科	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨髄間葉系幹細胞導入(骨穿孔術)による変形性膝関節症治療の確立	安達 伸生	整形外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規細胞間コミュニケーション因子であるエクソソームによる組織再生機構の解明	越智 光夫	整形外科	7,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
膝前十字靭帯再建術後に早期スポーツ復帰を行うための新しい多角的評価体系	中前 敦雄	整形外科	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
放射線誘発性末梢神経障害に対する新規治療開発	四宮 陸雄	整形外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト脂肪組織由来幹細胞を用いた新たな末梢神経再生促進療法の開発	横田 和典	形成外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
一塩基多型が1型リアノジン受容体の機能に与える影響についての検討	原木 俊明	麻酔科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
間葉系幹細胞を用いた腎線維化の抑制:無血清培地の検討	正木 崇生	腎臓内科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
去勢抵抗性前立腺癌におけるFGFR2IIIbを用いた新規治療戦略の開発	正路 晃一	泌尿器科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
内分泌性FGFsの分子機構解明による去勢抵抗性前立腺癌に対する新規治療戦略の確立	亭島 淳	泌尿器科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
プラズマによる細胞/組織の活性化・改質及び再生医療への応用展開	工藤 美樹	産科婦人科	400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
CTにおける放射線被ばくのDNA損傷に対する影響の検討	栗井 和夫	放射線診断科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ダイナミック心臓CT画像を用いた冠動脈の血流予備量比の推定	樽垣 徹	放射線診断科	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
大規模学習ニューラルネットワークを用いた低線量CT画像の画質修復	福本 航	放射線診断科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
臨床用CTを用いた有限要素法による骨脆弱性評価に向けた横断的・縦断的研究	高須 深雪	放射線診断科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
高線量率画像誘導放射線治療装置を用いた新規照射技術の開発	永田 靖	放射線治療科	3,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肺・肝臓癌に対する機能的画像を用いたオーダーメイド放射線治療法の開発	木村 智樹	放射線治療科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
放射線性心毒性低減を目指す食道癌への超短時間強度変調放射線治療技術の開発	村上 祐司	放射線治療科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
デジタルPCR法を応用した非侵襲的小児がん診断法の開発	栗原 将	小児外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小児肝がん国際共同臨床試験に向けた新たな治療戦略のための分子基盤の構築	栗原 将	小児外科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
特発性肺線維症急性増悪の人種差に着目した病態解明と新規バイオマーカー開発	大下 慎一郎	高度救命救急センター	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
高輝度小型パターン光源を用いた3次元内視鏡の開発と人体消化器官計測の試み	田中 信治	内視鏡診療科	300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
消化器系悪性腫瘍検出のための高感度自家蛍光イメージング技術の開発	田中 信治	内視鏡診療科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インテグリン結合RGD配列の近傍切断によるシグナル増強と歯髄組織創傷治療誘導	鈴木 茂樹	歯科保存診療科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯髄細胞が産生するTNF- α 誘導因子の探索	永安 慎太郎	歯科保存診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯内疾患の再生治療剤としての再生3要素球状複合体の有用性	柴 秀樹	歯科保存診療科	6,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
組み替えDPPタンパク質を利用した硬組織再生誘導法の確立	小武家 誠司	歯科保存診療科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
難治性疼痛の発症と維持機構におけるmiRNA/TLR系の役割,新規治療戦略の開拓	本山 直世	歯科保存診療科	400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
BDNFの細胞増殖、細胞死促進という二面性を用いた非外科的歯周組織再生療法の開発	柏井 桂	歯周診療科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
trkBシグナルを介した炎症制御メカニズムの解明と歯周炎治療への展開	武田 克浩	歯周診療科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
プロバイオティクスを利用した歯周病原細菌によるバクテミア予防のための基礎的研究	栗原 英見	歯周診療科	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
家族性侵襲性歯周炎の関連遺伝子同定と病態解析	水野 智仁	歯周診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
球状骨髄間葉系幹細胞集塊から3D構築された立体組織移植による歯周組織再生療法開発	栗原 英見	歯周診療科	6,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯肉上皮細胞機能制御による歯周病原細菌全身移行への抑制効果の検討	藤田 剛	歯周診療科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病患者における歯内疾患悪化メカニズムの解明	内田 雄士	歯周診療科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性関節リウマチ関連新規因子LRG1の歯周炎における役割	應原 一久	歯周診療科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
慢性疼痛に対する抗うつ薬治療と認知行動療法の神経科学的修復機構の解明	吉野 敦雄	歯周診療科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
薬物性歯肉増殖症動物モデルを用いたメカニズムの解明	松田 真司	歯周診療科	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
p62を介した選択的オートファジー誘導による口腔癌転移阻止療法の開発に関する研究	末松 美玲	顎・口腔外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
α2-アンチプラスミンのNaked DNA直接注入法による口腔癌遺伝子治療の開発	浜名 智昭	顎・口腔外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インテグレーションフリー・無血清培養系での歯原性腫瘍由来iPSCの誘導と病態解明	濱田 充子	顎・口腔外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト口腔扁平上皮癌幹細胞におけるGSK3βの発現及び機能解析	重石 英生	顎・口腔外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト骨髄由来間葉系幹細胞を用いた安全・安心な細胞治療を行うための基盤整備研究	岡本 康正	顎・口腔外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ユビキチンリカーゼ阻害剤を用いた口腔癌に対する分子標的治療薬の開発研究	坂上 泰士	顎・口腔外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ユビキチンリカーゼ阻害剤を用いた口腔癌に対する分子標的治療薬の開発研究	坂上 泰士	顎・口腔外科	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝性顎口腔疾患特異的iPS細胞を用いた無血清培養系における発症機序解明	山崎 佐知子	顎・口腔外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
海洋生物由来新規生理活性物質の探索とヒトiPS細胞を用いた創薬応用への基礎的研究	吉岡 幸男	顎・口腔外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
間葉系間質細胞が口腔癌細胞による幹細胞様性質の獲得機構に及ぼす影響についての研究	石田 康隆	顎・口腔外科	1,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌幹細胞ニッチにおけるサイトカインネットワーク維持機構とその診断治療への応用	岡本 哲治	顎・口腔外科	6,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるインテグリンβ6の蛋白翻訳修飾とその機能解析	藤井 隆彦	顎・口腔外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌細胞におけるインテグリンβ6の蛋白翻訳修飾とその機能解析	藤井 隆彦	顎・口腔外科	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規EMT関連遺伝子MTDHが誘導する口腔扁平上皮癌の浸潤機構の解析	小野 重弘	顎・口腔外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
無血清・無フィーダ培養系でのヒトiPS樹立と胚様体培養法を用いた顎骨・歯胚誘導	岡本 哲治	顎・口腔外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
無血清浮遊培養系でのCD133陽性口腔癌由来sphereの細胞内分泌学的特性解析	虎谷 茂昭	顎・口腔外科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
TMEM16E遺伝子欠損マウスを宿主とした特異的モノクローナル抗体の開発	久保 和美	口腔顎顔面再建外科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
血管作動性小腸ペプチドの口腔粘膜創傷治療、炎症制御機能の解明と治療薬としての応用	福井 暁子	口腔顎顔面再建外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のEMTを介した局所浸潤機構の解明	東川 晃一郎	口腔顎顔面再建外科	2,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔癌のEMT強度制御マーカーの同定	石田 扶美(田中扶美)	口腔顎顔面再建外科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のEMT誘導調節機構の解明	島末 洋	口腔顎顔面再建外科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜細胞から誘導されるヘムオキシゲナーゼ-1の機能とカンジダ症における意義	太田 耕司	口腔顎顔面再建外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨芽細胞-連通多孔体ハイドロキシアパタイト複合体による顎骨再建治療の確立	武知 正晃	口腔顎顔面再建外科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨代謝阻害薬のVEGFR2を介したVEGF-VEGFRシグナルの制御機構の解明	中川 貴之	口腔顎顔面再建外科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
多孔質セラミックスを用いた高機能培養骨の骨形成メカニズムの解明と臨床応用への検討	多田 美里(平岡美里)	口腔顎顔面再建外科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インテリジェント人工骨を用いる骨質改善療法の確立	上井 一矢	口腔インプラント診療科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
胎を舐める口腔機能訓練法の開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨粗鬆症に対する骨リモデリング制御型人工骨による骨再生療法	牧原 勇介	口腔インプラント診療科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯の喪失による学習・記憶能低下の分子生物学的解明	大上 博史	口腔インプラント診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
認知症高齢者の胎を舐める口腔機能と栄養状態の関係の解明	森 隆浩	口腔インプラント診療科	400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
無歯顎者に応用する単独インプラント支持オーバーデンチャーの治療指針の作成	是竹 克紀	口腔インプラント診療科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Micro RNAプロファイルを基にしたオーダーメイド歯周組織再生療法の確立	岩田 倫幸	咬合・義歯診療科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
オートファジーを介した黄色ブドウ球菌排除の分子基盤解明	原田 佳枝	咬合・義歯診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ドーバミンを用いた新規接着性プライマーの開発	柄 博紀	咬合・義歯診療科	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
可視光触媒活性型高機能インプラント表面構造の創製	野上 敬介	咬合・義歯診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞集塊clumps-MSCsによる歯周組織再生療法の開発	加治屋 幹人	咬合・義歯診療科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
睡眠時・覚醒時ブラキシズムと心理社会的因子およびTMDの共分散構造分析	安部倉 仁	咬合・義歯診療科	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アモロゲン由来新規ペプチド固定バリアメンブレンの開発と骨再生誘導への応用	粟田 哲也	矯正歯科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
インテグリンの機械的負荷受容メカニズムの解明と、阻害剤を用いたPCR予防法の確立	廣瀬 尚人	矯正歯科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ペプチド創薬とPRPを併用した歯周組織代謝活性の解明と歯根吸収予防治療への応用	吉見 友希	矯正歯科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
牡蠣殻ナノ粒子とエナメル蛋白を用いたバイオミネラリゼーションによるエナメル質修復	谷本 幸太郎	矯正歯科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
三次元培養細胞への機械的刺激と高分子HAを用いた顎関節症の解明と新規治療法の確立	光吉 智美	矯正歯科	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
歯の移動時の歯根吸収発現に対する歯髄組織反応の影響と抗炎症剤の抑制作用の検討	角 明美	矯正歯科	2,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
磁場を用いた膜帯血由来間葉系幹細胞の長期凍結保存法の確立	小島 俊逸	矯正歯科	1,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
磁場を利用した骨髄間葉系幹細胞の凍結保存法の確立	加来 真人	矯正歯科	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
未分化間葉系幹細胞とレーザーを併用した骨再生技術の確立と顎裂閉鎖治療への応用	鷺見 圭輔	矯正歯科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
3DSを用いた全身的感染予防プログラムの臨床的評価および作用機序の解明	新里 法子	小児歯科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
MSX1遺伝子による歯髄幹細胞の骨芽細胞/象牙芽細胞分化制御の解明	五藤 紀子	小児歯科	2,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
小児の口呼吸における関連因子の抽出と治療法の確立	海原 康孝	小児歯科	50,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
摂食嚥下障害を有する小児におけるPAPの有効性および口腔内細菌に与える影響	太刀掛 銘子	小児歯科	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
齲蝕原因菌のグローバルレギュレーションシステムに関与する新規遺伝子制御機構の解明	香西 克之	小児歯科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
薬物徐放制御能を有するハイブリッド生体材料の開発	二宮嘉昭	歯科放射線科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
下行性鎮痛系の増強を応用した新しい全身麻酔法の開発:5-HT受容体リガンドの活用	入舩 正浩	歯科麻酔科	3,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔顔面部神経障害性疼痛の発症機序の解明とその治療法の確立	吉田 充広	歯科麻酔科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肥満コントロールのための褐色脂肪細胞研究	大植 香菜	歯科麻酔科	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
患者の地域・コミュニティ(異文化)的背景に基づく医療コミュニケーション教育	小川 哲次	口腔総合診療科	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜細胞のDNA認識機構の解明と口腔粘膜炎症の調節	西 裕美	口腔総合診療科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
視覚障害者のWebアクセシビリティを保証する医療機関標準Webページの要件定義	田中 武志	地域連携歯科医療部	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌におけるHPV-16E6遺伝子による癌幹細胞形質の獲得機構の解明	杉山 勝	口腔健康科	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
F-spondinによる歯槽骨吸収抑制に関する検討	北川 雅恵	口腔検査センター	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
HBp17/FGFBP蛋白を標的とした口腔癌の分子標的診断・治療法の開発研究	新谷 智章	口腔検査センター	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
唾液腺腫瘍の生物学的態度に関わる因子の病理学的、分子生物学的解析	小川 郁子	口腔検査センター	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
Non-dipper型高血圧の発症における時計遺伝子の役割	中島 歩	未来医療センター	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
運動器損傷に対する血管新生および組織特異的マイクロRNAによる新規治療開発	亀井 直輔	未来医療センター	4,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規情報伝達因子エクソソームによる変形性関節症治療と診断への展開とその機能解析	味八木 茂	未来医療センター	5,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
変形性関節症におけるExosomeの役割と治療応用	石飛 博之	未来医療センター	1,200,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
先天性血小板減少症の責任遺伝子同定と病態解析	小林 良行	周産母子センター	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
体外循環装置操作の臨床経験を定量化する新しい仮想患者シミュレーションモデルの開発	黒崎 達也	周産母子センター	150,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
DNA損傷の定量を基盤とした心血管病リスクマーカーの確立	石田 万里	医歯薬保健学 研究院心臓血管生理医学	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計25

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
Galectin-3を標的とした歯性感染誘導性早期低体重児出産の診断予防法の開発	高田 隆	医歯薬保健学研究科口腔顎顔面病理病態学	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
IPS細胞バンクを利用した緊急被ばく対応システムの構築	東幸仁	原爆放射線医学研究所ゲノム障害病理	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
WHO国際分類改訂に向けたアジアにおける歯原性腫瘍の戦略的大規模調査	高田 隆	医歯薬保健学研究科口腔顎顔面病理病態学	3,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
アルドステロン産生腺腫を基盤にした新規アルドステロン合成機構の解明	沖 健司	医療安全管理部	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
う蝕原因菌由来新規アセチル化酵素の機能解析とう蝕予防への展開	林 幾江	医歯薬保健学研究科(歯)	1,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
シタラビンによる斑状丘疹性皮膚疹とSTAT3関連因子の関係の解明	大松 秀明	薬劑部	600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
遺伝学的アプローチによる小脳機能障害の解明	川上 秀史	原爆放射線医学研究所分子疫学	7,800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
感染治療における薬物-病原体-宿主免疫の3者相互関連性の解明に基づく治療法最適化	猪川 和朗	医歯薬保健学研究科臨床薬物治療学	1,900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
抗原の消化管透過性から見た食物アレルギー発症機序の解明	松尾 裕彰	薬劑部	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
高齢糖尿病患者の膝伸筋筋力の縦断調査とロコモを予防する運動療法プログラムの確立	河江 敏広	診療支援部	50,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
骨壊死に対するmiRNA導入骨髄単核球移植による骨修復促進効果	山崎 琢磨	医歯薬保健学研究科人工関節・生体材料学	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
産休・育休中の女性医師によるITを用いた僻地・在宅診療支援	横林 賢一	総合内科・総合診療科	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脂肪細胞の分化と脱分化制御の分子基盤解明研究	兼松 隆	医歯薬保健学研究科細胞分子薬理学	1,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
軸索再生を基軸としたGPR3の機能解析と中枢神経障害に対する新規再生療法への応用	田中 茂	医歯薬保健学研究科神経薬理学	1,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
新規生活習慣修正食による降圧効果の検証と血圧変動性に対する探索的研究	梅本 誠治	総合医療研究推進センター	569,577	補 委 文部科学省科学研究費補助金
人工呼吸器装着患者へのリハビリテーション展開に必要な新たな酸化ストレス指標の確立	對東 俊介	診療支援部	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
睡眠障害を中心課題とした慢性疾患セルフマネジメントプログラムの構築と有効性の検討	森山 美知子	医歯薬保健学研究科成人看護開発学	2,400,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
生体類似組織構築のための人工細胞外マトリックスの創製	加藤 功一	医歯薬保健学研究科生体材料学	2,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
体細胞変異に着目したアルドステロン産生細胞クラスターの病変進展メカニズムの解明	沖 健司	医療安全管理部	100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
脳科学的・運動学的根拠のある利き手・非利き手別リハビリテーションプログラムの開発	砂川 融	医歯薬保健学研究科上肢機能解析制御科学	2,500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
鼻副鼻腔における一酸化窒素のバイオモニタリングによる好酸球性炎症の解析	竹野 幸夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
変形性膝関節症の疼痛はラテラルスラストが要因か？疼痛を予防する新型器具の開発	出家 正隆	医歯薬保健学研究科運動器機能医科学	800,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金

小計22
誌計247

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第 3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の設置，委員会の手続き，迅速審査，他の研究機関が実施する研究に関する審査	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年 12 回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 本学の職員等が臨床研究に係る産学官連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、臨床研究利益相反管理委員会や相談室の設置、アドバイザーの配置、臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告、同委員会による調査、審査及びその他必要な手続きなどを定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年 16 回

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年 6 回
・ 研修の主な内容 研究者に求められる行動規範，本学での自主臨床研究の申請の流れ，臨床研究の品質マネジメント，本学で医学系研究を行う手順，医療機器の薬機法上の区分と具体的な申請方法について	

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(「1 研修の内容」, 「3 研修統括者」については、各診療科ごとに作成:別紙のとおり)

2 研修の実績

研修医の人数	118 人
--------	-------

(注) 前年度の研修医の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

脳神経領域の臨床医に必要とされる幅広い診療技能を習得するために、脳卒中、神経疾患、老年科疾患を正しく診断し、適切な治療を行うための知識、診療手技、検査手技、治療手技を身につけるとともに、患者および家族、メディカルスタッフから信頼される人間性を身につける。その基盤となるプライマリケアおよび一般内科の基本的な診療技能を身につける。

原則として、卒後3年目から4年間を後期研修期間とし、大学病院および構成病院で研修を行う。ただし、中途での大学院入学や国内外の留学についても柔軟に対応する。

研修中の具体的な目標としては、一般身体的診察や神経内科的診察、一般内科的治療や神経内科的治療、超音波検査と診断（頸動脈エコー検査、神経超音波検査、心エコー検査など）、電気生理学的検査と診断（脳波、筋電図、神経伝導検査など）、画像検査と読影（MRI、SPEC T、CTなど）、髄液検査と診断、自律神経機能検査と評価、神経免疫検査と評価、血管撮影と読影等に習熟し、日本内科学会認定医および日本神経学会専門医を取得することを目標とする。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松本昌泰	脳神経内科	教授	40 年	
丸山博文	脳神経内科	准教授	26 年	
細見直永	脳神経内科	診療准教授	24 年	
高橋哲也	脳神経内科	診療准教授	23 年	
越智一秀	脳神経内科	診療講師	20 年	
永野義人	脳神経内科	診療講師	20 年	
上野弘貴	脳神経内科	診療講師	15 年	
青木志郎	脳神経内科	助教	13 年	
竹田育子	脳神経内科	助教	11 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

研修する医師が、呼吸器内科疾患（びまん性肺疾患、慢性閉塞性肺疾患や気管支喘息を含む気道疾患、呼吸器感染症、呼吸器悪性腫瘍など）の診断と治療方法を習得することを目標としている。この目標の達成のため、日本呼吸器学会が定める呼吸器専門医資格を有する医師を指導医として研修する医師に割り当て、日々指導を受けることができる体制を構築している。また、研修する医師が気管支内視鏡検査技術を習得することができるように、指導医により検査手技の指導が行われる体制も構築している。研修する医師が、最新の臨床診断方法や治療方法の知識を獲得するため、最新論文の抄読会に参加する機会も設けている。

研修統括者（それに准ずる指導医）は、病棟回診や症例検討会において、研修する医師に対して各疾患の診断と治療方法の指導を行っている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
服部 登	呼吸器内科	准教授	29 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

研修期間：2年間～4年間、卒後4年目以降(教室所属2年目以降)は、個々の希望に沿う進路を模索。

循環器疾患は内科診療の要であり、今後の罹患者数の増加を見込めば、一つの内科診療単位にとられない広い領域をカバーする分野であると思われます。冠インターベンションだけではなく、集中治療、リハビリテーションから高血圧・軽症糖尿病・脂質管理まで様々な英知が統合されて始めて、循環器疾患の管理は可能となります。したがって循環器内科とはいえ、その内容は内科学全般に他なりませんし、そうした智慧が求められています。

取得可能な専門医、認定医

1. 日本内科学会認定内科医
2. 日本内科学会認定総合内科専門医
3. 日本循環器学会認定循環器専門医
4. 日本心血管インターベンション学会認定医・指導医
5. 日本超音波医学会専門医・指導医
6. 心臓リハビリテーション指導士
7. 日本高血圧学会専門医

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
木原 康樹	循環器内科	教授	37 年	統括、心不全等
山本 秀也	循環器内科	准教授	28 年	虚血性心疾患、画像診断等
中野 由紀子	循環器内科	講師	25 年	不整脈等
栗栖 智	循環器内科	助教	24 年	虚血性心疾患等
福田 幸弘	循環器内科	助教	24 年	虚血性心疾患等、弁膜症
日高 貴之	循環器内科	助教	17 年	弁膜症、心エコー等
土肥 由裕	循環器内科	助教	17 年	肺高血圧等
北川 知郎	循環器内科	助教	16 年	画像診断、虚血性心疾患、心筋疾患等
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期研修修了者を対象として、広島県内主要関連病院にて3年間程度専門診療研修を実施している。その後、大学に帰学し、1年間の臨床研修後ののちに大学院へ進学することを基本コースとしている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
茶山 一彰	消化器・代謝内科	教授	35 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

内分泌内科：下垂体、甲状腺・副甲状腺、副腎などの内分泌疾患を診断するため、各種ホルモン負荷試験など内分泌機能検査を実施し、その評価方法を研修する。
糖尿病内科：1型および2型糖尿病の診断、合併症検査、治療法を研修する。頻度の少ない稀な糖尿病、妊娠糖尿病などの症例の血糖管理を経験することもある。また、糖尿病療養指導を行うチーム医療のリーダーとしての役割も研修する。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
米田 真康	内分泌・糖尿病内科	講師	18年	糖尿病
沖 健司	内分泌・糖尿病内科	助教	17年	内分泌

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

1年目は大学病院または関連病院で多くのリウマチ・膠原病疾患の診療に携わり、診察、診断、治療の基本的な知識、技能を身につけます。2, 3年目は研修医の希望により、大学病院あるいは関連病院での研修を選択することができます。4年目以後には大学院入学、国内のリウマチ専門病院での臨床研修あるいは大学病院でのさらなる専門研修を行い、リウマチ専門医の取得を一応の目標といたします。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
杉山 英二	リウマチ科（リウマチ・膠原病科）	教授	36年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

血液内科後期研修では、プロフェッショナルの“血液内科臨床医”に要求される血液疾患の診断法と治療法、さまざまな合併症の管理を高いレベルで実践するための幅広い知識と技術を習得するとともに、未知の病態解明や新規の診断・治療法の開発を目指すための“医学研究者”としての視点を習得することを目標とし、具体的には下記の内容の研修を行う。

1. 血液疾患の多彩な診断方法を習得する。
2. 各血液疾患の診断や治療に関わる専門的な知識を習得する。
3. 分子標的治療薬を含む抗腫瘍薬を用いた化学療法に精通する。
4. 造血幹細胞移植療法の適応を決定し、実施できる。
5. 免疫不全に伴う難治性の感染症をコントロールできる。
6. 血液疾患に随伴する合併症の治療に必要な全身管理法を習得する。
7. 患者さんのQOLに配慮し、重層的なチーム医療を実践する。
8. 治験や国際的な臨床研究の遂行に協力する。
9. 身近なクリニカルクエスションを臨床研究に発展させ、学会や論文で発表する。
10. 臨床での疑問を独創性あふれる基礎研究に結びつける。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
一戸 辰夫	血液内科	教授	27 年	
藤井 輝久	血液内科・輸血部	准教授	25 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

専門医研修として、広島大学病院腎臓内科・透析内科において、指導医のもと患者を受け持ち、腎臓病（糸球体疾患、尿細管間質疾患、急性・慢性腎不全の治療・管理）をはじめ、高血圧・膠原病・糖尿病に伴う腎症、電解質異常、輸液管理、血液浄化療法（血液透析・アフェレシス）、腹膜透析に関する診断・治療を修得するよう努めます。入院患者の新患発表、腎病理・透析カンファレンスを行い、腎疾患を含めた一般内科の基本的知識を学びます。早期に内科専門医、腎臓専門医、透析専門医取得を目指します。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
正木 崇生	腎臓内科・透析内科	教授	24 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

感染症学：感染症学会感染症専門医取得を基本目標として研修する。当院は日本感染症学会専門医制度認定研修施設であり、感染症専門医育成のためのカリキュラムにそった研修を行っている。

消化器外科学：外科専門医取得後のサブスペシャリティとして消化器外科専門医、大腸肛門病専門医の育成を行っている。当院は消化器外科学会および大腸肛門病学会の修練認定施設であり、専門医取得に必要な勝利得の経験が可能である。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大毛 宏喜	感染症内科	教授	25 年	日本感染症学会指導医，日本外科学会指導医，日本消化器外科学会指導医，日本大腸肛門病学会指導医

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

呼吸器外科・消化器外科・乳腺外科の基礎研究と臨床研究。
肺がん、食道がん、乳がんに対する外科手術。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
岡田 守人	呼吸器外科	教授	28 年	
宮田 義浩	呼吸器外科	准教授	27 年	
角舎 学行	乳腺外科	講師	24 年	
浜井 洋一	消化器外科	講師	19 年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

心臓血管外科：外科サブスペシャリティーの一つである心臓血管外科専門医取得を基本目標として研修する。当院は心臓血管外科専門医認定機構が定める心臓血管外科専門医育成のためのカリキュラム上認定修練施設となっており、同機構の修練カリキュラム基本概念（同機構ホームページ参照）に沿った研修を行っている。

消化器外科：まずは外科専門医を取得し、さらに難易度の高い消化器外科領域の手術を経験し、消化器外科専門医取得に必要な手術件数を経験することを目標とする。当院では消化器外科学会が定める修練施設となっており、専門医取得に必要な手術症例を経験することは十分可能である。

小児外科：外科専門医を取得した後、さらに専門的な知識の獲得と手術手技の修練を行い、小児外科専門医の獲得を目標とする。特に大学病院という特性から小児悪性腫瘍など一般的には頻度の少ない症例の経験が可能である。小児外科専門医獲得のため、手術へ執刀医も含む立場での参加、また小児外科学会を始めとした国内のみならず海外学会への参加・発表も積極的に支援する。また、希望時には国内・海外留学の支援も行う。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
末田 泰二郎	心臓血管外科	教授	39 年	日本外科学会指導医、心臓血管外科専門医 修練指導医
檜山 英三	小児外科	教授	35 年	日本小児外科学会指導医、日本外科学会指導医、日本人類遺伝学会（臨床遺伝指導医）、日本臨床腫瘍学会暫定指導医
村上 義昭	消化器外科	准教授	34 年	日本外科学会指導医、日本消化器外科学会指導医、日本肝胆膵外科学会高度技能指導医

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修を終了した医師が消化器外科領域（上部消化管外科、下部消化管外科、肝胆膵外科）および移植外科領域（肝移植、腎移植、膵移植）を専門的にトレーニングが受けられるよう、各専門領域をある一定期間ローテーションしつつ手術や周術期管理を中心により専門的に研修を行い、専門医資格の取得などを旨とする。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
大段 秀樹	移植外科・消化器外科	教授	28年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

外来研修としては、統合失調症、気分障害、不安障害、身体化障害、ストレス関連障害、症状性または器質性精神障害、睡眠障害、人格障害などの疾患において、一般的精神医学的な診察、診断と治療の方向性を決定する能力を養うため、予診や代理診察を行い上級医とともに診療に当たる。

病棟研修として、上記疾患における一般的な精神科診断、治療や、身体疾患を合併した精神疾患の治療を、入院患者を上級医とともに担当し学ぶ。週1回の症例カンファレンスや、月1回の症例検討会、月3～7回程度の精神科当直を行う。

コンサルテーション・リエゾン領域の研修として、がんや全身疾患などにともなって出現する精神症状の診断、治療について学ぶ。

その他に、週1回研修医向けの講義を行っている。また、月1回程度の各種勉強会や、年2回の精神科学会を開催している。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
山脇 成人	精神科	教授	37年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

- ・血液疾患、固形腫瘍を代表とする小児慢性疾患の入院患者を担当し、日々の治療・検査を通じて、小児科診療に必要な知識・手技を習得する。また、子どもの病棟生活に関わり、発育・発達について学習する。
- ・造血細胞移植の症例が多数あり、造血細胞移植に伴う合併症、感染症を経験して治療を行う。
- ・周産母子センターにおいて、病的新生児の蘇生、呼吸管理、循環管理などの初期対応を学習する。
- ・専門外来（血液、代謝、内分泌、神経、新生児、心臓、腎臓、リウマチ、精神など）の見学・参加を通じて、小児医療全般について学習する。
- ・救急外来（当院、広島市立舟入市民病院）の見学・参加を通じて、小児急性疾患、救急疾患の初期対応について学習する。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小林 正夫	小児科	教授	38 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

臨床研修を修了した医師に対しては、整形外科の各専門分野に関する専門的知識や手技の向上を目指し、外来診察の指導・手術手技の指導、学会への参加などの研修を行っている。
各関節外科、脊椎外科、腫瘍、リウマチ外科など整形外科の種々の分野における高度医療に関する研修を行っている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
安達伸生	整形外科	教授	28 年	
久保忠彦	整形外科	准教授	27 年	
田中信弘	整形外科	講師	26 年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

広島大学脳神経外科では、疾患単位の診療グループと技術や手技単位のグループを構成して、研修医は専門医研修の最初の1年を研修施設で研修する。悪性脳腫瘍グループ（以下、Gと略す）、良性脳腫瘍G、血管障害G（血管内治療を含む）、てんかん外科G、脊椎外科・頭蓋底外科Gと大きく5Gにわけられ、研修医は3ヶ月を1単位として初めの各グループを回る。残り3ヶ月を後者の2Gをまわり、まんべんなく研修できる。また、小児神経外科に関しては、脳腫瘍は脳腫瘍Gの時に、水頭症は良性脳腫瘍Gの時に、二分脊椎は症例があるごとに脊椎外科Gと共に診療して経験する。従って、研修施設にいる最初の1年目に研修病院や関連病院では経験が困難な、機能・てんかん外科、少神経外科、脊椎・脊椎外科を一通り研修できる。深部脳刺激に関しては、広島市内にある関連病院にて症例がある時に、手術に参加させて頂き研修している。この様にし、あらゆる領域を研修施設、関連施設を中心に経験できる。

診療内容に関しては、高度医療機器を用いての診断や治療を共に実践できる。3 T MRIや320列CT、フラットパネルdual projection DSA, Hybrid ORなど指導医と共に使用してその高度は内容の把握に努める。実際、MRI診断は週4日、特殊検査のCTは週2日、診断と血管内治療を行うDSAは週4日、更に脳磁図週2日、SPECTは週1日、と脳神経外科自ら行っているため、それぞれの診断、治療の助手として参加して研修している。

手術機器としては、3種類の機能や性能の異なる手術用顕微鏡（ライカ、オリンパス、ツアイス）、ICGによる血流検査、5ALAによる悪性脳腫瘍の描出、各種電気生理学的モニター（SEP, ME P, ABR, facial nerve, EOM, lower cranial nerve, 脊髄レベルも含めて）は医療工学士と共に検査や判断を研修できる。また、BrainLabのナビゲーションシステムも必要に応じて使用し、手術の精度を上げている。

2016年4月に国内初となる情報統合型手術室SCOT (Smart Cyber Operating Theater)を導入し臨床応用している。

手術数としては、この数年全体で年間430-450件。脳腫瘍150-190件、脳血管障害100-120件（血管内治療を含む）、てんかん・機能神経外科30-35件、脊髄脊椎外科30-35件、頭部外傷10-15件、小児神経外科5-10件、等である。

以上、研修施設としての広島大学病院脳神経外科の内容を詳述した。3に述べる各subspecialty領域の研修統括者がその領域の責任者として指導している。

「広島大学脳神経外科専門医養成プログラム」全体としては、昨年述べた施設・病院と内容である。プログラム全体として、年間経験症例数は2000例を超えている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
栗栖 薫	脳神経外科	科長・教授	35年	脳神経外科専門医、救急医学会専門医全体統括
井川 房夫	同上	准教授	30年	同上、脳卒中学会専門医
飯田 幸治	同上	講師・診療准教授	27年	同上、てんかん診療専門医
山崎 文之	同上	講師	23年	同上、癌治療学会認定医
山口 智	同上	診療講師	22年	同上、脊髄外科学会

坂本繁幸	同上	助教・学部内講師	19年	指導医・専門医 同上、脳神経血管内 治療指導医・専門医
齋藤太一	同上	助教	19年	同上、神経内視鏡技 術認定医
岡崎真仁	同上	助教	18年	同上、脳神経血管内 治療専門医
武田正明	同上	助教	18年	同上、脊髄外科学会 指導医・専門医
木下康之	同上	助教	17年	同上、神経内視鏡技 術認定医
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

皮膚科で取り扱う疾患は、アレルギー・膠原病・感染症などの内科系皮膚疾患から熱傷・皮膚悪性腫瘍などの外科系皮膚疾患まで多岐にわたる。また、皮膚症状が全身性疾患の部分症状として出現することも少なくない。

これらの皮膚疾患全般の診断と治療の方法を知り、原発疹、続発疹の名称を用いて口頭および記述により皮膚所見を表現し、一般的な皮膚疾患について検査および治療計画を立案と実施、または適切に専門医へ紹介する技能と態度を修得する。

具体的な手技としては糸状菌検査、皮膚縫合、軟膏外用療法、アレルギー検査等を経験し知識を身につける。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
秀 道広	皮膚科	教授	31年	皮膚科専門医、アレルギー指導医
平郡 隆明	皮膚科	准教授	21年	皮膚科専門医、アレルギー指導医
河合 幹雄	皮膚科	助教	21年	皮膚科専門医、皮膚悪性腫瘍指導専門医、熱傷専門医、がん治療認定医、認定褥瘡医師
田中 暁生	皮膚科	助教	16年	皮膚科専門医、アレルギー専門医
田中 麻衣子	皮膚科	助教	15年	皮膚科専門医 International Board in dermatopathology
高萩 俊輔	皮膚科	助教	14年	皮膚科専門医
岩本 和真	皮膚科	助教	12年	皮膚科専門医
森桶 聡	皮膚科	助教	11年	皮膚科専門医

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

概要：本プログラムは、2年間の卒後臨床研修を終了して泌尿器科医をめざす医師を対象としており、広島大学およびその教育関連施設における計4年間の専門医教育の具体的内容を定めたものである。本プログラムの最終年度には、日本泌尿器科学会が認定する泌尿器科専門医の資格が得られるようにプログラムを運営する。

コース全体像：【泌尿器科専門医研修の開始宣言→原則として広島大学病院で泌尿器科基本手技研修を開始→広島大学関連施設にて前期研修(1~2年間)→広島大学関連施設にて後期研修(1~2年間)】(合計4年間の研修期間)→日本泌尿器科学会専門医取得(最短で卒業後6年目)

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
松原 昭郎	泌尿器科	教授	31年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

産婦人科の進歩に応じ、広い知識、練磨された技能、高い倫理性を備えた産婦人科医を養成する。

- 1) 産科学、婦人科学について、診断、治療の技術、管理方法を修練する。
- 2) 大学病院、関連研修病院をローテイトし、周産期の診断と管理、分娩・産科手術の実際を修練し、女性の生理、婦人科疾患の病態について幅広い知識を習得する。
- 3) 希望者（初期研修でローテイトしていない者は）はNICUをローテイトし、NICUにおける未熟児を含む新生児管理についての知識と技術を習得する。
- 4) 日本専門医機構による新専門医制度に備え、日本産科婦人科学会に新たに認定された「産婦人科指導医」による指導体制を整えている。学会の示す指導施設のうち、総合型指導施設である基幹病院として、「広島大学産科婦人科 専門研修プログラム」を整備、改正しながらこれに沿った指導を行っている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
工藤 美樹	産婦人科	教授	31 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) サブスペシャリティ領域は以下の4つで、それぞれの研修管理委員会担当者は以下のとおりである。1) 腫瘍：平田英司 2) 周産期：田中教文 3) 女性医学：山本弥寿子 4) 生殖・内分泌：兵頭麻希 5) 全領域の統括担当：三好博史

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

初期の4ヶ月では、患者への適切な対応、基本的な診察、必要検査の施行、診療録への正確な記載など基本的なことを指導医から実地に指導を受け修得し、中期の4ヶ月では、各種プログラムに必要な症例の経験やレーザー治療を含めた基本手術手技の習得や手術助手の経験をつむ。後期の4ヶ月では、基本的な疾患の手術を指導医のもと実際に経験し目標を達成する。特に担当する手術患者については手術室で指導医の管理のもと、局所消毒の習得や手術介助を行い、局所麻酔法や眼科手術における基本的術式の理解と研修を行った。

以上より1年の研修終了後には一通りの疾患に対する基本知識と考え方を身につけることができた。さらに、抄読会や症例検討会で症例報告などを行い、各種講習会、学会発表に主体的に参加させ指導医のもとさらに掘り下げた教育を行い疾患に対するより理解を深め、眼科専門医として必要な知識と技能を習得できた。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
木内 良明	眼科	教授	33 年	
近間 泰一朗	眼科	准教授	24 年	
山根 健	眼科	講師	20 年	
地庵 浩司	眼科	医科診療医	19 年	
吉川 知子	眼科	講師	16 年	
奥道 秀明	眼科	特任助教	16 年	
井之川 宗右	眼科	医科診療医	15 年	
戸田 良太郎	眼科	助教	14 年	
竹中 丈二	眼科	助教	14 年	
柳 昌秀	眼科	医科診療医	13 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

- 第一期：大学病院における研修(1年：卒後3年目)
耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学研究室に入局後、1年間で耳鼻咽喉科一般の必要最低限の基礎的なトレーニングを終了し、併せて上気道の管理・確保も可能となるようトレーニングする。耳鼻咽喉科・頭頸部外科医として必要な臨床研修を行う。
- 第二期：研修協力病院における研修(2年：卒後4年目)
研修協力病院(AグループまたはBグループの関連病院)において、共通プログラムに基づき耳鼻咽喉科・頭頸部外科の研修を継続する。
- 第三期：研修協力病院または大学病院における研修(3年：卒後5年目)
経験した症例数に応じて、研修協力病院(前年と別のグループの関連病院)あるいは大学病院において、共通プログラムに基づき耳鼻咽喉科・頭頸部外科の研修を継続する。
- 第四期：大学病院または研修協力病院における研修(4年：卒後6年目)
原則として、研修協力病院より大学に戻り、耳鼻咽喉科・頭頸部外科病棟、外来において、今まで習得した知識、技術を精練するとともに、初期研修医、学生の指導にあたる。経験した症例によっては、AグループまたはBグループの関連病院にて耳鼻咽喉科・頭頸部外科の研修を継続する。卒後6年の研修終了後には日本耳鼻咽喉科学会専門医受験資格を得る。また、この時期から各専門研究グループに入り、その専門知識の習得と研究を行う。希望があれば卒後5年目より大学院に入学し、学位論文に対応する研究論文を作成する。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
平川 勝洋	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	教授・診療科長	40年	
井門 謙太郎	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	講師	26年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

- (1) 単純 X 線写真・CT・MRI・核医学検査等の読影を行い、指導医のもとに画像診断報告書の作成を行う。この過程で、画像解剖・代表的な所見・鑑別診断法について習得する。
- (2) 研修中に経験した重要な症例について、指導医のもとでスライドにまとめ、放射線診断科の定例カンファレンスで発表する。この過程で各症例に関する知識をより深めるとともに、プレゼンテーションおよびディスカッション能力を習得する。
- (3) 様々なIVR手技に助手として参加し、検査後に指導医のもとで報告書を作成する。また、IVR入院患者につき指導医のもとに患者管理の基礎を修得する。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
粟井 和夫	放射線診断科	教授	30 年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

当院では各臓器に発生する様々な悪性腫瘍を幅広く網羅している。個々の症例に対する治療戦略の構築は診察を踏まえた診療科内および診療科横断的カンファレンスを通して行っている。臨床研修を終了した医師は放射線治療科に専属し、初診時の診察から放射線治療計画立案、治療期間中の診療、治療終了後の効果判定と有害事象評価に携わることで臨床経験を積む。外部照射の治療計画は年間100例以上を経験する。小線源治療においては術者としてチームに加わり技術を習得する。院内で開催される月20回を超えるカンファレンスや勉強会に出席し、プレゼンテーションと発言を通して知識の充実を図る。また専門的研修を開始して1年ほどの経験を経た時点で関連領域である画像診断に関する研修を行う。これらの研修を踏まえて専門的研修開始後3年を経過した時点で放射線科専門医、5年を経過した時点で放射線治療専門医の資格を取得することを目標としている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
永田 靖	放射線治療科	教授	34 年	
村上 祐司	放射線治療科	講師	21 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

安全で質の高い周術期医療を提供し国民の健康と福祉の増進に寄与することができる麻酔科およびその関連分野の診療を実践する専門医を育成する。

具体的には下記の4つの資質を修得する。

- 1) 十分な麻酔科領域、および麻酔科関連領域の専門知識と技量
- 2) 刻々と変わる臨床現場における、適切な臨床的判断能力、問題解決能力
- 3) 医の倫理に配慮し、診療を行う上での適切な態度、習慣
- 4) 常に進歩する医療・医学を則して、生涯を通じて研鑽を継続する向上心

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
河本 昌志	麻酔科	教授	37年	(公社)日本麻酔科学会認定麻酔科指導医 麻酔科標榜医
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

1. コースの概要

本コースでは軽症から重症、内科性から外因性疾患、そして小児から高齢者まで、幅広い急性期疾病に対応できる救急総合医の養成を目指す。

具体的習得目標

- 1) 救急初期診療における全身評価及び救命救急処置ができる。
- 2) 重症患者に対する集中治療ができる。
- 3) 一般救急外来患者への医療対応ができる。
- 4) 在宅や院外などの救急現場における急性期診療ができる。
- 5) リーダとして救急医療チームの指揮・指導ができる。
- 6) 災害時の医療対応ができる。
- 7) 病院前救護における指導や助言が行える。

広島大学病院高度救命救急センターは重症外傷や熱傷など外因性疾患、種々の重症内因性疾患、そして敗血症や臓器不全など多彩な疾病に対する重症患者管理において豊富な臨床経験を得ることのできる全国有数の施設です。ただし、広島大学病院の救急研修では初期・二次救急疾患、外傷外科、地域医療における臨床経験が不十分となるため、広島大学病院以外の救急医療施設と後期研修プログラムを構成しています。

2. 構成病院群一覧（救急科後期研修協力医療機関）と特色

“Hiroshima-Kyoto collaboration”

- (1) 広島市立広島市民病院：西日本有数のER研修施設、救命救急センター
- (2) 県立広島病院：豊富な外傷救急、救命救急センター
- (3) 中国労災病院：島しょ部を含めた地方型総合救急医療
- (4) 国立病院機構呉医療センター：重症を中心とした救命医療、救命救急センター
- (5) マツダ病院：地域密着型救急初期診療
- (6) 広島市立安佐市民病院：中山間地での多彩な救急医療
- (7) JA尾道総合病院：地域密着型救急医療、地域救命救急センター
- (8) JA広島総合病院：地域密着型救急医療、地域救命救急センター
- (9) 国立病院機構京都医療センター：ERからICUまで完遂型総合救急、救命救急センター
- (10) 京都第二赤十字病院：外傷外科救急から集中治療まで、京都市最大の救命救急センター
- (11) 市立福知山市民病院：地域密着型総合内科救急、地域救命救急センター

*各施設の特長を活かした横断的研修により救急医療の“オールラウンドプレーヤー”に必要な臨床技能を磨くことができます。

*研修者の希望に応じて研修をアレンジ可能です。

3. 研修期間

2017年度については、日本救急医学会による旧認定プログラムと、新認定プログラム（専門医機構プログラムに以降予定）の双方での研修が可能です。

(1) 旧プログラムでは、1年単位での研修が可能です。合計3年（条件により最低1年）の研修により日本救急医学会救急科専門医取得が可能となります。

(2) 新プログラムでは、3年間を通じたプログラム研修により、救急科専門医取得が可能です。

(3) 後期研修修了後の進路は希望に応じて対応可能です。

4. 取得できる専門医、認定医について

- 1) 基本領域学会専門医

救急科専門医、救急科指導医

2) 多領域横断的関連学会専門医、新規加盟学会専門医

集中治療専門医 (日本集中治療医学会)

熱傷専門医 (日本熱傷学会)

クリニカル・トキシコロジスト (日本中毒学会)

脳卒中専門医 (日本脳卒中学会)

呼吸療法専門医 (日本呼吸療法医学会)

感染症専門医 (日本感染症学会)

ICD: インфекションコントロールドクター (ICD制度協議会) など

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
志馬 伸朗	救急科 高度救命救急センター 集中治療部	教授 診療科長 センター長 部長	26年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(歯科保存診療科)

1. 歯内療法および保存修復領域の疾患の病因・病態を理解し、診断・治療計画立案ができる。
2. 基本的歯内療法および保存修復治療をすることができる。
3. 根管細菌嫌気・好気培養検査、歯科用マイクロスコープおよびニッケルチタンファイルを用いた歯内療法を実践することができる。
 - ・診療内容の難易度を考慮の上、担当を決定する。
 - ・診療上の疑問点、問題点については、研修統括者あるいは上級歯科医師への相談に加えて、必要に応じて医局員全員で症例検討を行う。

(歯周診療科)

歯周病治療に対する以下の専門的な研修を行う。

- ①歯周病の病因が理解できる。
- ②歯周病治療に対して必要な検査を行い、正しい診断ができる。
- ③一般的な歯周病について、個々の歯周病の特徴について、治療法および治療計画について、予後について、患者に対してわかりやすく説明できる。
- ④歯周病と全身疾患に関して理解し、患者に対してわかりやすく説明することができる。
- ⑤歯周基本治療、歯周外科治療、メンテナンスを実践することができる。

(口腔インプラント診療科)

1. インプラント義歯による補綴治療
2. 高齢者・有病者の全部床及び部分床義歯治療
3. 顎関節症の保存的治療
4. 入院患者への往診口腔ケア、義歯治療
5. 摂食・嚥下リハビリテーション

(咬合・義歯診療科)

1. インプラント義歯を含む審美歯科治療
2. 高齢者・有病者への歯冠補綴治療、欠損補綴治療
3. 顎関節症の保存・咬合治療
4. 入院患者への往診口腔ケア、義歯治療

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
柴 秀樹	歯科（歯科保存診療科）	教授	28年	
鈴木茂樹	歯科（歯科保存診療科）	講師	14年	
津賀 一弘	歯科（口腔インプラント診療科）	教授	31年	
久保 隆靖	歯科（口腔インプラント診療科）	講師	29年	
阿部 泰彦	歯科（口腔インプラント	准教授	27年	

	診療科)			
呉本 晃一	歯科(口腔インプラント 診療科)	講師	25年	
是竹 克紀	歯科(口腔インプラント 診療科)	助教	19年	
吉川 峰加	歯科(口腔インプラント 診療科)	准教授	16年	
安部倉 仁	歯科(咬合・義歯診療科)	講師	34年	
吉田 光由	歯科(咬合・義歯診療科)	准教授	25年	
土井 一矢	歯科(咬合・義歯診療科)	助教	14年	
森田 晃司	歯科(咬合・義歯診療科)	助教	11年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

矯正歯科に関わる専門研修を行っている。矯正歯科に必要な検査、診断、治療計画の作成法について、講義および症例検討会を開催するとともに、矯正装置作製およびタイポドント実習を行うことにより、必要な専門知識と技術の修得を図っている。診療室における臨床研修では、指導医の管理、指導の下、治療を行う。

研修プログラムを管理し、研修を統括している方の記載をお願い致します。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
谷本 幸太郎	矯正歯科	教授	24 年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

研修の内容

本大学病院小児歯科は、小児歯科を標榜し、日本小児歯科学会認定小児歯科専門医を養成するための研修医療施設として認められている。5年間の研修期間に小児歯科専門医としての診断力と高度な治療技術を修得するとともに、小児歯科学に関する臨床研究にも従事し、以下の項目を含む research mindを併せ持つ優秀な小児歯科専門医を養成している。

研修内容

- ①乳歯列期，混合歯列期，永久歯列期の長期の成長過程にわたる口腔管理の実践
- ②小児口腔疾患の診査診断技術の向上による高度診断力の修得
- ③小児の口腔軟組織小手術，埋伏過剰歯の摘出術等の治療技術の修得
- ④多職種連携と地域貢献の実践
- ⑤海外児童歯科医療支援活動の実践

研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
香西克之	小児歯科	教授	35 年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

(顎・口腔外科)

口腔外科領域の認定歯科医・専門歯科医・指導歯科医（臨床インストラクター）となるための基本的な臨床能力（態度、技能、知識など）や臨床教育技法を習得する。

特に、

- 1、 医の倫理についての考え方、患者心理に関する知識を身につける。
- 2、 口腔外科領域および関連領域の疾患に対する適切な診察・診断能力を身につける。
- 3、 口腔外科領域の疾患の適切な処置および手術手技を身につける。
- 4、 患者の全身管理に必要な総合的医学知識を身につける。

(口腔顎顔面再建外科)

- ・ 外来診療（診察、小手術など）の指導
- ・ 入院患者に対する手術や術後周術期の管理
- ・ カルテ記載方法
- ・ 保険点数と算定法

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
小泉 浩一	歯科口腔外科（ 顎・口腔外科）	助教	19 年	
武知 正晃	歯科口腔外科（ 口腔顎顔面再建 外科）	准教授	22 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

がんの診療における各種診断法、化学療法による治療、化学療法の副作用対策などについてより深い知識を習得することを目標としている。さらに、がん薬物療法専門医を目指すうえで必要な基本手技や知識を習熟するための研修を行う。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
杉山 一彦	腫瘍内科(がん化学療法科)	教授	32年	
妹尾 直	腫瘍内科(がん化学療法科)	病院助教	17年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	
			年	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

全臓器の外科病理、臨床病理的な手法と考え方を習得することが可能です。殊に新規に開発される様々な分子標的治療薬の効果予測因子を検索するためのコンパニオン診断の知識や検索をin houseで行い、評価方法も学ぶことが出来る。具体的にはFISH法を用いてのHER2やALK1遺伝子の検索やK-RASやEGFRのmutationの検索を実習できる。更に多数症例の病理解剖を研修できる。全国的に病理解剖は減少傾向にあるが、本学の年間病理解剖数は約60-70例で、全国の旧国立大学病院の中で3位であり、極めて多彩な症例の経験ができることは大きな長所である。細胞診についても様々な症例を研修することが可能である。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
有廣 光司	病理診断科	教授	29 年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャルティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャルティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

形成外科疾患全般の知識、技術習得を目的に、主には病棟医として専門医である診療科長のもと、下記の研修を行う。

- 1) 形成外科で扱う疾患を理解し、形成外科診療の基礎を理解し、実践すること
- 2) 救急を含んだ日常診療において遭遇する形成外科疾患の初期治療を習得すること
- 3) 創傷治癒や組織移植に関する基礎知識、術後管理の基本を幅広く学び熟度に応じて、手術にも積極的に参加する。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
横田 和典	形成外科	教授	27年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

広島大学病院リハビリテーション科は、リハビリテーション科専門医研修プログラムの基幹研修施設であり、広島市立リハビリテーション病院、アマノリハビリテーション病院、山崎病院を統括している。高度の医療に関する研修を実施するため、リハビリテーション科専門医 2 名とリハビリテーション科専門研修指導医 1 名を有している。また平成 29 年 3 月に、リハビリテーション科専門医試験を 2 名受験予定である。
広島大学病院は社団法人日本リハビリテーション医学会研修施設として認定されている。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
木村 浩彰	リハビリテーション科	教授	28年	リハビリテーション医学会専門医、指導医
三上 幸夫	リハビリテーション科	助教	21年	

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状
管理責任者氏名	病院長 平川 勝洋	
管理担当者氏名	病院総務グループリーダー 新本 陽一郎 病院医事グループリーダー 名越 恵	

		保管場所	管理方法	
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務グループ 病歴管理センター	カルテは1患者1カルテで病歴管理センターで保管管理し、X線写真は、各診療科で保存管理している。 なお、診療録を病院外に持ち出すことは禁止している。
		各科診療日誌		
		処方せん		
		手術記録		
		看護記録		
		検査所見記録		
		エックス線写真		
		紹介状		
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務グループ	
		高度の医療の提供の実績	医事グループ	
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事グループ	
		高度の医療の研修の実績	総務グループ	
		閲覧実績	総務グループ	
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ	
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ 薬剤部	
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	各診療科	
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部		

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務グループ
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務グループ
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十三第一項第一号から第十五号までに掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務グループ
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務グループ
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務グループ
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務グループ
		医療安全管理部門の設置状況	総務グループ
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	検討中
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	検討中
		監査委員会の設置状況	検討中
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	検討中
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	財務・総務室総務グループ
		職員研修の実施状況	検討中
管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	検討中		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第 6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画	2. 現状	
閲覧責任者氏名	病院運営支援部長 三分一 恒男		
閲覧担当者氏名	総務グループリーダー 新本 陽一郎		
閲覧の求めに応じる場所	総務グループ事務室		
閲覧の手続の概要			
閲覧希望者の求めに応じて、総務グループ事務室で行っている。			

(注) 既に医療法施行規則第 9 条の 20 第 5 号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

(注) 特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 1 項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <p>【医療安全管理のための指針】</p> <ol style="list-style-type: none">1. 医療安全管理に関する基本的な考え方2. 用語の説明<ol style="list-style-type: none">1) 医療上の事故等（インシデント）2) ヒヤリ・ハット（ゼロレベルインシデント）3) 医療過誤（法律用語）4) 合併症3. 医療安全管理に関する推進方法<ol style="list-style-type: none">1) 医療安全管理体制の構築2) 医療事故・インシデントなどの報告制度の確立3) 職員に対する医療安全教育・研修の実施4) 事故発生時の対応方法の確立5) 医療事故の公表と報告<ol style="list-style-type: none">①医療機関への報告・公表②公表する範囲③プライバシーの尊重④当事者に対する配慮⑤警察への報告⑥社会への公表4. 医療安全管理に関する指針の閲覧について5. 患者相談窓口について	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・設置の有無（有・無） ・ 開催状況：年 9 2 回</p> <p>・活動の主な内容：</p> <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 「医療事故防止等対策委員会」は、月 1 回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小	

委員会」及び「医療事故防止等対策小委員会」を統括し、医療の安全管理、医療事故の防止、医療訴訟に関する事項を審議する。

また、「医療事故防止等対策委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会」、「医療事故防止等対策小委員会」及び「医療安全管理室会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。

(年12回)

- 2) 「医療安全管理室会議」は、毎週1回開催し、医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。(年52回)

【医科領域】

- 1) 「患者影響レベル判定小委員会(医科領域)」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして、患者影響レベル3b以上の事象については医療事故か医療事故でないかを判定し、病院長に報告する。(年16回)

【歯科領域】

- 1) 「医療事故防止等対策小委員会(歯科領域)」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。(年12回)

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況

年19回

・研修の主な内容：別紙①のとおり

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・医療機関内における事故報告等の整備 (有 ・ 無)
- ・その他の改善のための方策の主な内容：

【医科・歯科共通】

- 1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議を通じて伝達している。
- 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療事故防止等対策委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。
- 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。
- 4) 発生した重大なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療事故防止等対策委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。
- 5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 1 号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none">1. 院内感染対策に関する基本的な考え方2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項<ol style="list-style-type: none">(1) 感染症対策委員会(2) 感染管理室 (ICT)、リンクナース及び感染対策実践者3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針<ol style="list-style-type: none">(1) 通常時の対応(2) 緊急時 (重大な院内感染等の発生) の対応6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 4 8 回
<p>・活動の主な内容：</p> <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 「感染症対策委員会」は、月 1 回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。(年 12 回)2) 「感染管理室会議」は月 1 回開催し、院内感染情報等の収集、調査、分析を行い、院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。(年 12 回) <p>【医科領域】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 「感染症対策小委員会 (医科領域)」は、月 1 回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し (穿刺) 感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。(年 12 回) <p>【歯科領域】</p> <ol style="list-style-type: none">1) 「感染症対策小委員会 (歯科領域)」は、月 1 回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し (穿刺) 感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。(年 12 回)	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 1 0 回
<p>・研修の主な内容：別紙②のとおり</p>	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<p>・病院における発生状況の報告等の整備 (有・無)</p>	

・その他の改善のための方策の主な内容：

感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。

(様式第 6).

規則第 1 条の 11 第 2 項第 2 号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 3 回
・研修の主な内容： ・「安全なミキシングについて」 全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会 ・「薬剤部の業務内容と医薬品安全対策について」 研修医オリエンテーション ・「医薬品の医療安全（薬のここに気をつけよう）」新規（新人・中途）採用看護師	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1年に1回、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図っている。また、薬品管理に関しては、担当者が看護師と協力してマニュアルに基づいて管理を行うとともに、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が必要時実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認を行っている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： ① 院内リスクマネージャー（RM）会議（毎月）において、薬剤部業務及び病棟業務にて収集した副作用の障害を未然に防いだ事例や医薬品の適正使用及び疑義照会に関する内容を整理して報告。また、インシデント事例の分析と対策についてプレゼンを実施。さらに、これらの中から注目すべき内容を取り上げて、「薬剤部ニュース」として、処方例および簡潔な薬学的根拠に関する説明を行い、病院情報システムによって広報。 ② 薬剤部リスクマネージャー（RM）の下に薬剤部内各部署にRMアシスタント（RMA）を配置し、薬剤に関するインシデント事例や調剤・製剤、病棟、化学療法など各部署におけるリスクを担当者から吸い上げて、検討（定例会議 1回/月）し改善を図る。必要に応じて順次手順書や薬剤部マニュアルなどを改訂。 ③ 病棟担当者による病棟の現場に即した講義を実施 計14回開催 対象：現場の医師、看護師、リハビリスタッフ、ソーシャルワーカーなど 講義内容：手術医薬品の種類について、レンピマについて、抗がん剤の暴露と被爆防止対策、肝機能を考慮した糖尿病薬の選択、手術室のインシデント、抗HIV薬について、医療用麻薬について、新薬オブジーボ（安全性について）、無菌調製・配合変化・麻薬管理について、新規抗がん剤“ヨンデリス”の適正使用について など	

(様式第 6)

規則第 1 条の 11 第 2 項第 3 号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年5回 程度
・ 研修の主な内容： 注入ポンプ使用に関する説明会 心電図・除細動器使用に関する説明会 人工呼吸器安全使用に関する説明会 補助循環装置の安全管理に関する研修会	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 医療機器に係る計画の策定 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ 保守点検の主な内容： 特定保守管理機器に関しては取扱説明書に準じて定期的かつ必要事項を点検している。	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集 その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (<input checked="" type="checkbox"/> 有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 毎月、医療安全管理部から医療機器に関連するインシデント報告をもらい、必要に応じて対策をSPDセンター運営委員会に報告し検討する。そしてSPDセンター運営委員会で対策を検討した結果を院内へ通達する。	

(様式第 6)

規則第 9 条の 23 第 1 項第 1 号から第 15 号に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理担当の副病院長を医療安全管理責任者として配置し、統括することとしている。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2 名) ・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none">・採用医薬品について、添付文書、インタビューフォーム、使用上の注意の解説、製品情報概要等を入手し、専用キャビネット及び電子ファイルとして薬剤部サーバで保管している。・添付文書の改訂情報を把握し、改訂時には新添付文書及び改訂内容を解説した使用上の注意の改訂のお知らせを当該医薬品の製造・販売企業より入手する。・緊急安全性情報・安全性速報の発出時、およびこれらに準じる緊急性の高い情報を取得した際には、医薬品安全管理責任者へ報告し、関係者と緊急度および重要度に応じて対応を協議している。・使用患者を特定して対応する必要がある場合には、診療 DWH を使用して情報収集を行い、関係部署へ直接連絡を行って、対応を協議する。必要に応じて診療 DWH から抽出した情報に基づいて、当該患者の担当診療科・担当医師に対して患者一覧を添えた通知や、個別の患者への通知を行う。・効能効果・用法用量の追加・変更情報、処方日数制限の変更、採用医薬品の取り扱いの変更や供給に関する情報などについて、内容に応じ適宜書面、院内情報ウェブ掲示板を用いて通知を行う。・その他、添付文書情報の改訂、各機関から発出された安全性情報などは原則月 1 回、まとめて各部長、病棟看護師長、薬剤部各部署に通知し、病院情報システムグループを通じて院内掲示板にも掲示する。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p>未承認薬について</p> <ul style="list-style-type: none">・当院は、オーダリングシステムによってオーダ入力された処方について調剤を行っている。未承認薬は、オーダリングシステムに登録されていないことから未承認薬を誤って調剤することはな	

い。

適応外使用および禁忌に該当する医薬品の使用について

- ・適応外使用については、診療倫理審査委員会の承認を経て使用されることとなっている。
- ・入院患者については、全病棟に薬剤師を配置しており、病棟担当薬剤師が全患者の処方についてチェックを行い、医師へ情報提供や処方変更の提案・相談などを行っている。その結果は、病棟薬剤業務・薬剤管理指導記録へ記録しており、その記録は電子カルテに保管され、医師や看護師を始めとして全職種が確認可能となっている。
- ・外来患者については、随時医師の相談に応じて対応している。
- ・処方オーダー時に、併用禁忌に関してはアラートが出るシステムとなっている。
- ・薬剤師からの情報提供や医師や看護師からの質問や相談、処方変更などの内容は、全て院内インシデントシステムにてプレアポイド報告として記録されている。これらの情報は、毎月全職種が出席するリスクマネージャー会議にて報告され、院内全体に情報共有され、注意喚起が行われている。

・担当者の指名の有無 (有・無)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

有・無

・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有・無)

・規程の主な内容：

医療安全管理マニュアルにおけるI・Cの概要としては、説明対象者、説明者、同席者について規定をしており、I・Cの成立要件や、その要件が免除される場合、説明書と同意文書を持ちてI・Cを行う医療行為について規定や、文書による説明と同意についての手段や説明内容について、また、記録に関する規定等を設けている。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況

有・無

・活動の主な内容：

毎月全退院患者の診療録について、量的監査、記載内容の確認を行い、年3回特定の入院診療録の記載について同じ診療科で主担当でない別の医師2人、他の診療科医師1人計3人で質的監査を行い、結果を各診療科へフィードバックし、診療録記載の充実について指導し、啓発を行っている。

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（2）名、専任（2）名、兼任（1）名 うち医師：専従（ ）名、専任（1）名、兼任（1）名 うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名 うち看護師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（ ）名</p> <p>※平成28年10月1日時点</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) リスクマネジメント業務の総括 2) 医療事故等に関連する情報の収集、調査、分析 3) 医療事故に関するカルテ等の記載内容の点検及び指導 4) 患者及び家族への説明等について、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導 5) 医療事故等の原因究明の実施確認及び指導 6) 医療事故防止にかかる教育・研修及びその環境整備 7) 医療の質向上 8) 病院内の各種マニュアルの管理 9) 定期的な院内の巡視 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p>	
<p>⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p> <p>・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）</p>	
<p>⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況</p> <p>・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p> <p>・規程の主な内容：</p>	

・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無 (有・無)

・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無 (有・無)

⑨ 監査委員会の設置状況

有・無

・ 監査委員会の開催状況：年 回

・ 活動の主な内容：

・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無 (有・無)

・ 委員名簿の公表の有無 (有・無)

・ 委員の選定理由の公表の有無 (有・無)

・ 公表の方法：

監査委員会の委員名簿及び選定理由 (注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	
				有・無	

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者 (1. に掲げる者を除く。)
3. その他

⑩ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 341 件（平成 27 年 7 月～3 月）
- ・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 35 件
- ・医療安全管理委員会の活動の主な内容

医師による死亡退院の入力が反映された病棟管理日誌・病院管理日誌内の死亡報告をもとに、医療安全管理部門の専任リスクマネージャーが、入院患者の死亡症例を把握している。このことは、医療事故調査制度にも関連することから、7 月以降、毎月 1 回医療事故防止等対策委員会にて死亡事例調査報告書をあげ、入院患者の死亡事例について審議を行っている。緊急かつ重大な事象が発生した場合は、医療安全管理マニュアルにその一般的な対応方法を定めているが、当該事象に対する具体的な対応を審議するための危機管理室、病院長が関係者からの事情聴取による事実確認を行い、その結果、医療法に定める医療事故の発生その他必要な事項を判断する症例検討委員会、医療の安全確保に関し、医療事故の係る原因の調査究明及び再発防止を行う医療事故調査委員会が、それぞれの任務にあっている。

また、緊急かつ重大な事象以外のインシデントが発生した場合、当事者又は発見者は、発生後速やかに、インシデントレポートにより報告することが医療安全管理マニュアルとして定めている。その流れ・患者影響レベルの選別において、専任リスクマネージャーによるレベル選別会議及び医療安全管理部会議においてレベル 3a 以上の事象を選定後、患者影響レベル判定小委員会（医科）及び医療事故防止等対策小委員会（歯科）の審議を経て、必要に応じて医療事故防止等対策委員会で「事故報告書及び改善策検討報告書」の審議や当該改善策の実行を指示している。また、リスクマネージャー会議を通じて、各リスクマネージャーに当該事案の周知や実践を図っている。

⑪ 他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院への立入り（有（病院名： ）・無）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名： ）・無）
- ・技術的助言の実施状況

国立大学附属病院長会議常置委員会による『医療安全・質向上のための相互チェック』を隔年で実施している。そのため、平成27年度は実施していないが、平成26年度の実施状況は、次のとおりである。

- ・他の特定機能病院への立ち入り（有（病院名：金沢大学附属病院）
- ・他の特定機能病院からの立入り受入れ（有（病院名：大阪大学医学部附属病院）

⑫ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況

患者・家族等からの相談等に応じられる体制を確保するための患者相談窓口として、患者支援センター医療相談室を設置しており、当該相談等で医療安全に関わるものについては、医療安全管理部と連携して対応し、安全対策の見直し等に活用している。

⑬ 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況

- ・情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無（有・無）
- ・窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関しする必要な定めの有無（有・無）
- ・窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無（有・無）

⑭ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況：別紙①のとおり

⑮ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

管理者等対象の研修を独自・単独で開催してはならず、通常の医療安全管理職員研修会のみを実施している。

(様式第8)

広大病医事第16-7号
平成28年 月 日

厚生労働大臣

殿

開設者名（管理者名） 広島大学病院長
平川 勝洋（印）

医療に係る安全管理のための体制整備に関する計画について

標記について、次のとおり提出します。

記

1. 医療安全管理責任者を配置するための予定措置

現医療安全管理部長を医療安全管理責任者として配置する予定である。なお、本年9月中には、医療安全管理責任者に関連する規則を整備し、位置付けを明確にする予定である。

2. 医薬品安全管理責任者の活動を充実するための予定措置

既に体制整備が整っているため、経過措置の適用を希望しない。

3. 医療を受ける者に対する説明に関する責任者を配置するための予定措置

本年9月中には、規程を整備し、責任者を配置し、位置付けを明確にする予定である。

4. 説明の実施に必要な方法に関する規程を作成するための予定措置

本年9月中には、新たに規程を制定するか、既存のマニュアルを活用するかのいずれかにて対応する予定である。

なお現在、規程の制定に代えて医療安全管理マニュアルに記載している内容で対応することができるか、厚生労働省へ照会中である。

5. 診療録等の管理に関する責任者を配置するための予定措置

既に体制整備が整っているため、経過措置の適用を希望しない。

6. 規則第9条の23第1項第10号に規定する医療に係る安全管理に資する措置を実施するための予定措置

現在は、医師による死亡退院の入力が病棟管理日誌・病院管理日誌に反映される。それを医療安全管理部が確認することで報告としている。

当該入院患者等の死亡事例を1か月単位で死亡事例調査報告書として取りまとめ、毎月1回医療事故防止等対策委員会において審議を行っている。なお、管理者への報告に関しては、病院長が当委員会の委員長であることをもって報告としている。

今後は、死亡診断書の報告をもって死亡報告、退院時サマリーをもって死亡前状況報告とする。これらの報告を事務部門より医療安全管理部へ報告することを計画している。

7. 医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口を設置するための予定措置

既に体制整備が整っているため、経過措置の適用を希望しない。

8. 医療安全管理部門による医療に係る安全の確保に資する診療の状況の把握及び従業員の医療の安全に関する意識の向上の状況の確認実施のための予定措置

現在、定期的に院内を巡回し、各部門において医療安全確保のための必要な業務が実施されているか、項目を設け確認をしているが、これに加えて手術時の血栓予防策実施率のモニタリング等も確認事項を加え、院内ラウンドにおいて、その都度、診療状況を把握する予定である。

また、現在、医療安全管理職員研修会では終了時に実施するアンケート調査により、医療安全に関する職員の理解や意識の向上の状況確認を行っている。

9. 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

今年度中に設置予定である。

10. 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業員が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

今年度中に作成予定である。

11. 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門を設置するための予定措置

今年度中に設置予定である。

12. 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程を作成するための予定措置

今年度中に作成予定である。

13. 監査委員会を設置するための予定措置

今年度中に設置予定である。

14. 他の特定機能病院の管理者との連携による立入り及び技術的助言を遂行するための予定措置

立入り及び受け入れについては、今後、厚生労働省から示された内容を参考に来年度より実施する予定である。

なお、現在、厚生労働省から方針について示されるのを待っている状態である。

15. 職員研修を実施するための予定措置

現在、必修の職員研修にて、インシデント・アクシデント報告の流れ、医療安全に係る具体的事例の改善策等について取り上げた研修会を実施している。また、研修実施後アンケートなどを活用して、研修内容の理解度を把握している。

また、監査委員会からの意見に関する事項と高度の医療を提供するために必要なものに関する事項にかかる職員研修会の実施については、監査委員会、高難度新規医療技術評価委員会発足後、適時実施する予定である。

16. 管理職員研修（医療に係る安全管理のための研修，管理者，医療安全管理責任者，医薬品安全管理責任者，医療機器安全管理責任者向け）を実施するための予定措置

国立大学附属病院長会議が実施する研修（今後検討予定）に来年度から参加する予定である。

17. 医療安全管理部門の人員体制

- ・ 所属職員：専従（2）名，専任（2）名，兼任（1）名
- うち医師：専従（ ）名，専任（1）名，兼任（1）名
- うち薬剤師：専従（1）名，専任（ ）名，兼任（ ）名
- うち看護師：専従（1）名，専任（1）名，兼任（ ）名

18. 医療安全管理部門の専従職員を配置するための予定措置

医師については，平成30年4月1日から専任医師を2名配置する予定である。